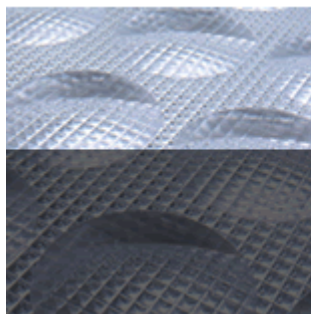


平成24年度外来生物問題等認知度調査業務 報告書

2013年1月

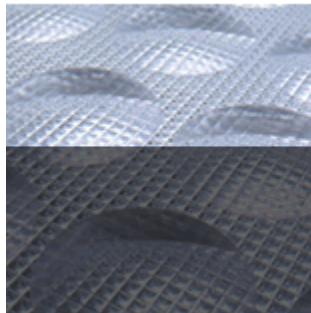
環境省
自然環境局 野生生物課



目次

1. 調査の概要	2
2. 調査結果の詳細	4
2-1. 単純集計	5
2-2. クロス集計	17
1. 「外来種」または「外来生物」の認知度	18
2. 「外来生物法」の認知度	22
3. 「外来生物法」の認知経路	26
4. 特に対策を実施すべきと思う外来生物	32
5. 外来生物の防除(動物の駆除や植物の引き抜き等)に ついての考え	38
6. 外来生物について欲しい情報	44

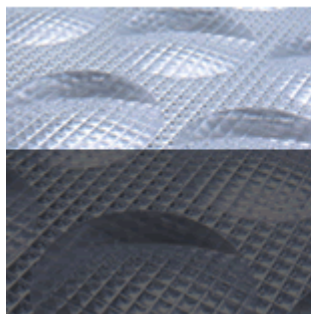
1. 調査の概要



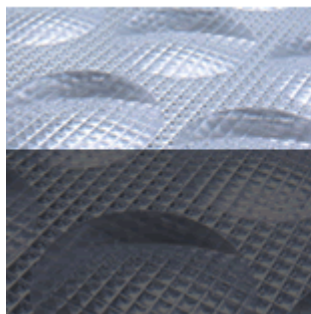
1. 調査実施の概要

■調査テーマ	外来生物に関する調査
■調査対象	クローズド調査（消費者）
■調査実施期間	2013/01/18～2013/01/22
■総回答数	1082サンプル
■調査方法	インターネット調査
■調査機関	NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション

2. 調査結果の詳細

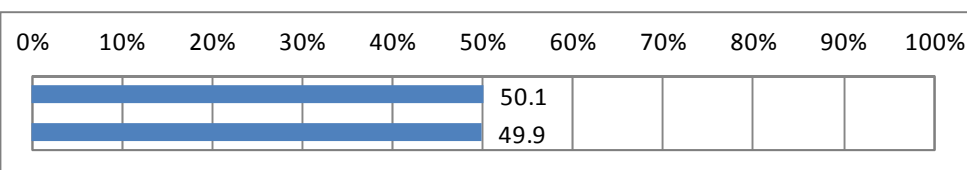


2-1. 単純集計



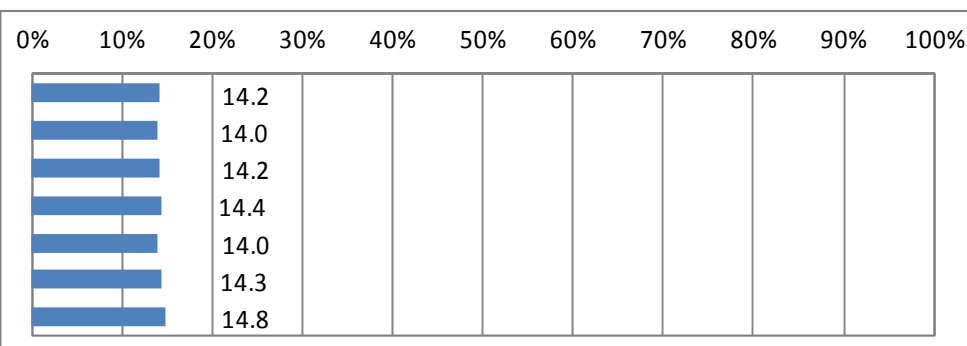
問1. あなたの性別をお答えください。

		実数	%
	全体	1082	100.0
1	男性	542	50.1
2	女性	540	49.9



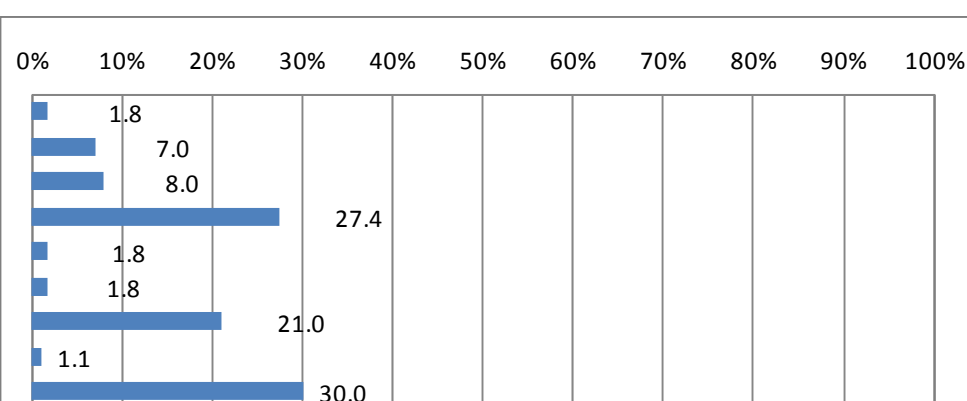
問2. あなたの世代若しくは年代をお答えください。

		実数	%
	全体	1082	100.0
1	10代	154	14.2
2	20代	152	14.0
3	30代	154	14.2
4	40代	156	14.4
5	50代	151	14.0
6	60代	155	14.3
7	70代以上	160	14.8



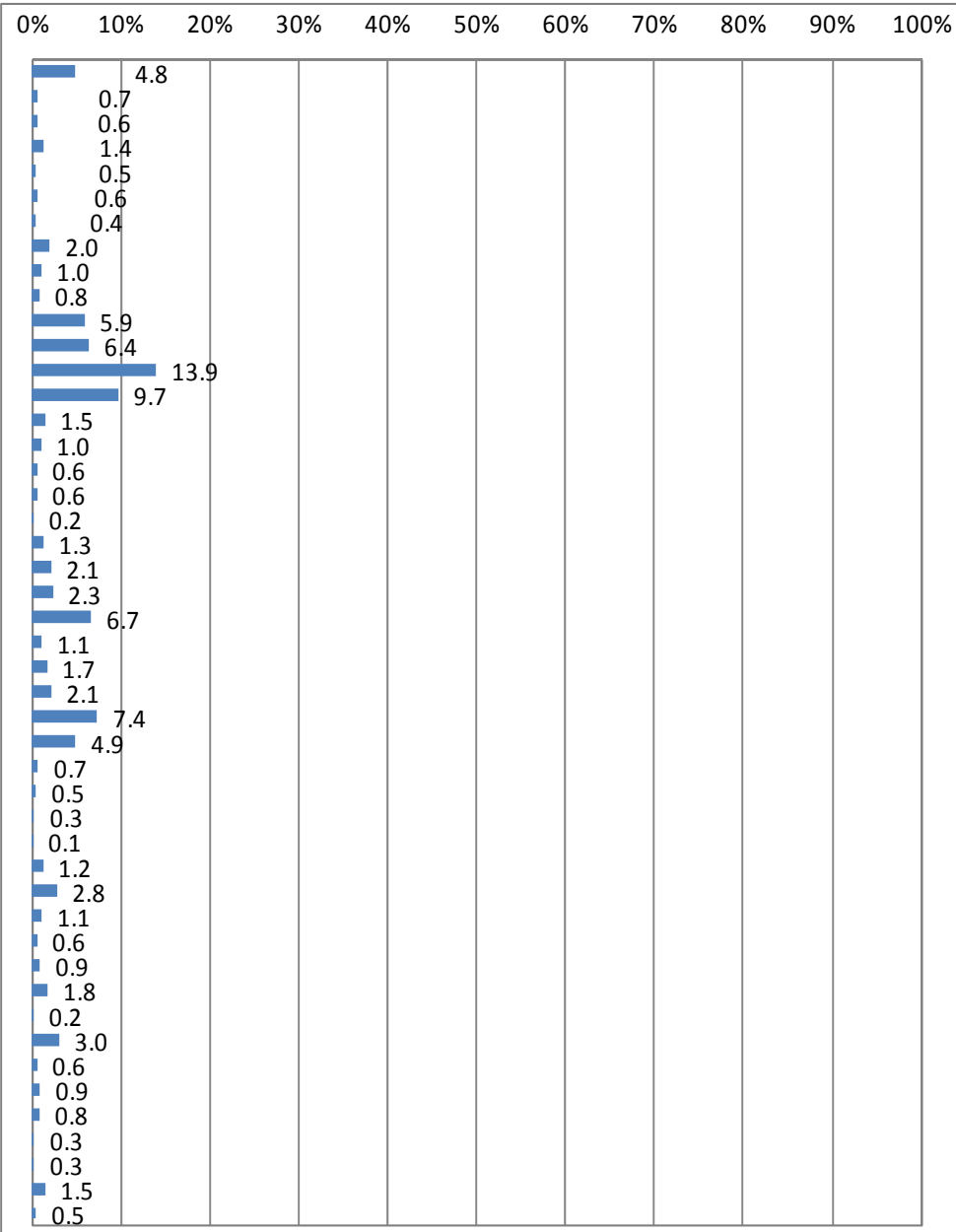
問3. あなたの職業をお答えください。

		実数	%
	全体	1082	100.0
1	中学生	19	1.8
2	高校生	76	7.0
3	大学生	87	8.0
4	会社員	296	27.4
5	公務員	20	1.8
6	教職員	20	1.8
7	主婦（主夫）	227	21.0
8	農林漁業者	12	1.1
9	その他	325	30.0



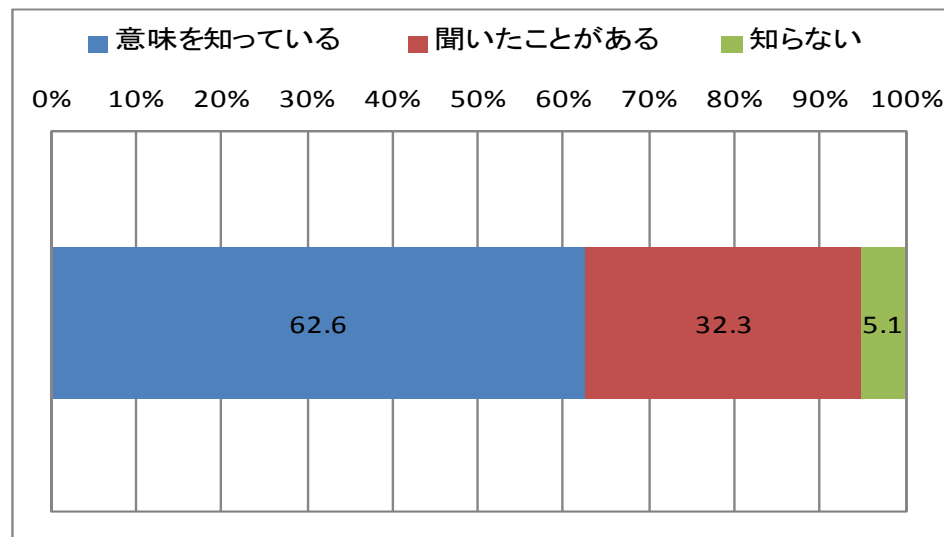
問4. あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

		実数	%
全体		1082	100.0
1	北海道	52	4.8
2	青森県	8	0.7
3	岩手県	7	0.6
4	宮城県	15	1.4
5	秋田県	5	0.5
6	山形県	6	0.6
7	福島県	4	0.4
8	茨城県	22	2.0
9	栃木県	11	1.0
10	群馬県	9	0.8
11	埼玉県	64	5.9
12	千葉県	69	6.4
13	東京都	150	13.9
14	神奈川県	105	9.7
15	新潟県	16	1.5
16	富山県	11	1.0
17	石川県	6	0.6
18	福井県	6	0.6
19	山梨県	2	0.2
20	長野県	14	1.3
21	岐阜県	23	2.1
22	静岡県	25	2.3
23	愛知県	72	6.7
24	三重県	12	1.1
25	滋賀県	18	1.7
26	京都府	23	2.1
27	大阪府	80	7.4
28	兵庫県	53	4.9
29	奈良県	8	0.7
30	和歌山県	5	0.5
31	鳥取県	3	0.3
32	島根県	1	0.1
33	岡山県	13	1.2
34	広島県	30	2.8
35	山口県	12	1.1
36	徳島県	6	0.6
37	香川県	10	0.9
38	愛媛県	19	1.8
39	高知県	2	0.2
40	福岡県	33	3.0
41	佐賀県	6	0.6
42	長崎県	10	0.9
43	熊本県	9	0.8
44	大分県	3	0.3
45	宮崎県	3	0.3
46	鹿児島県	16	1.5
47	沖縄県	5	0.5



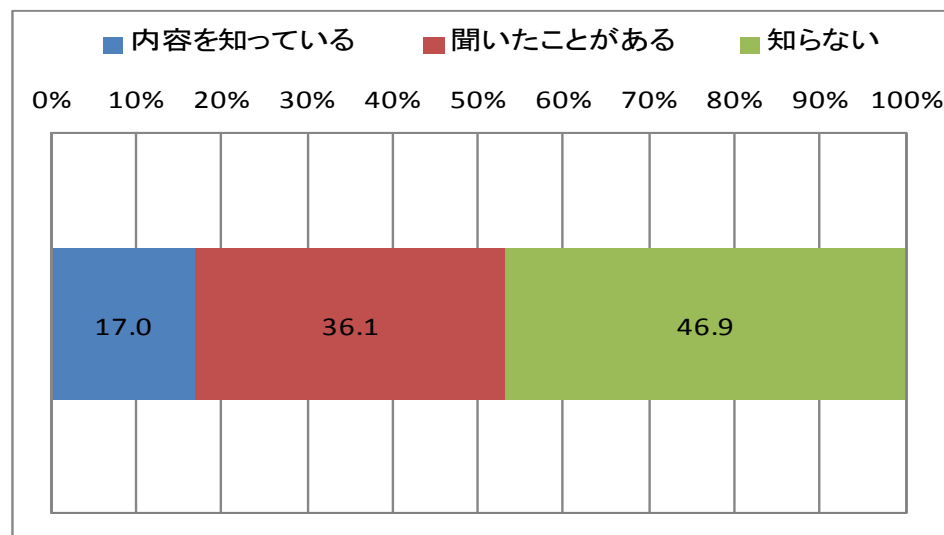
問5. あなたは、「外来種」または「外来生物」という言葉を知っていますか。次の中から1つだけお答えください。

		実数	%
	全体	1082	100.0
1	意味を知っている	677	62.6
2	聞いたことがある	350	32.3
3	知らない	55	5.1



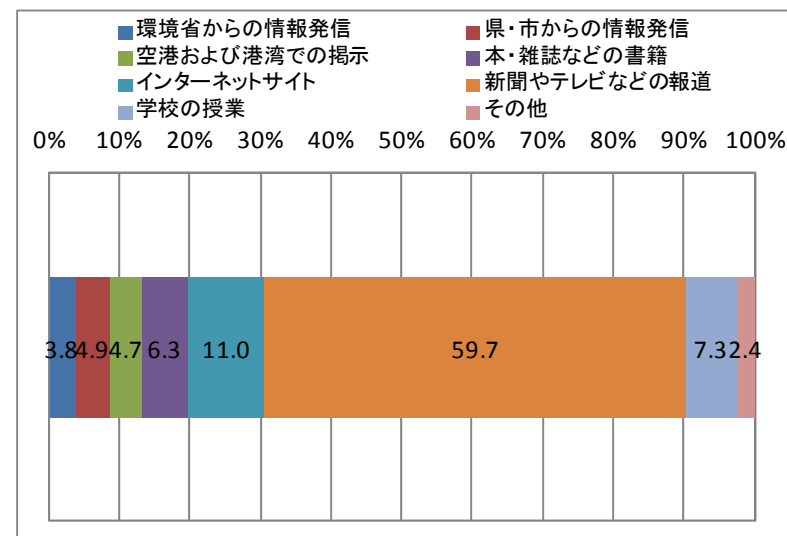
問6. あなたは、「外来生物法」について知っていますか。次の中から1つだけお答えください。

		実数	%
	全体	1082	100.0
1	内容を知っている	184	17.0
2	聞いたことがある	391	36.1
3	知らない	507	46.9



問7. あなたは、「外来生物法」をどこで知りましたか。次の中からお答えください。

		実数	%
	全体	575	100.0
1	環境省からの情報発信	22	3.8
2	県・市からの情報発信	28	4.9
3	空港および港湾での掲示	27	4.7
4	本・雑誌などの書籍	36	6.3
5	インターネットサイト	63	11.0
6	新聞やテレビなどの報道	343	59.7
7	学校の授業	42	7.3
8	その他	14	2.4

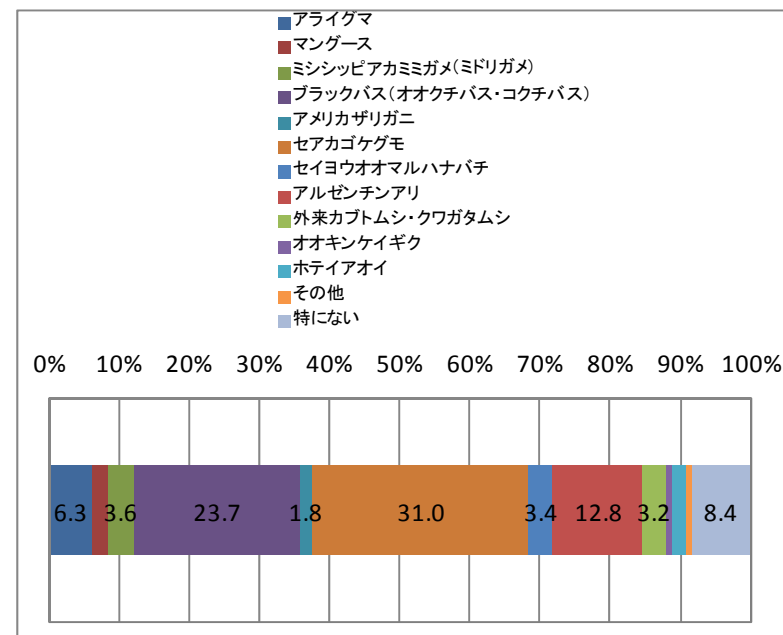


問7FA. その他の自由記述

	実数
全体	14
テレビ	4
博物館講演	1
知人から聞いた	1
講座	1
バス釣りが趣味だから	1
友人の話	1
動物園	1
なんとなく	1
覚えていない	3

問8. あなたが特に対策を実施すべきと思っている外来生物はなんですか。

		実数	%
	全体	1082	100.0
1	アライグマ	68	6.3
2	マングース	24	2.2
3	ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）	39	3.6
4	ブラックバス（オオクチバス・コクチバス）	256	23.7
5	アメリカザリガニ	19	1.8
6	セアカゴケグモ	335	31.0
7	セイヨウオオマルハナバチ	37	3.4
8	アルゼンチンアリ	138	12.8
9	外来カブトムシ・クワガタムシ	35	3.2
10	オオキンケイギク	10	0.9
11	ホテイアオイ	23	2.1
12	その他	7	0.6
13	特にない	91	8.4



問8FA. その他の自由記述

	実数
全体	7
ジャンボタニシ	1
全部	1
上記の全て	1
アメリカシロシトリ	1
毛虫	1
アレチウリ	1
わからない	1



アライグマ



マンゲース



ミシシippアカミミガメ



ブラックバス(オオクチバス)



アメリカザリガニ



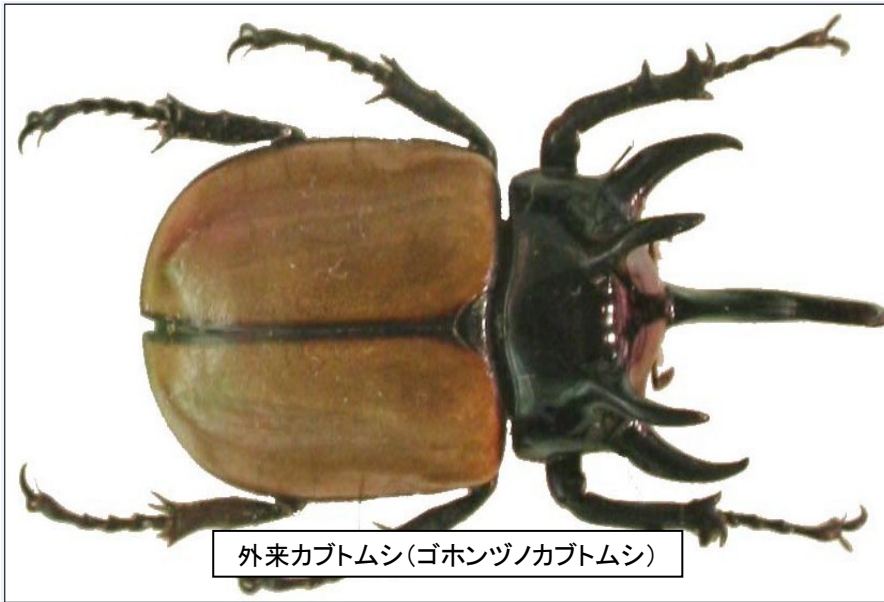
セアカゴケグモ



セイヨウオオマルハナバチ



アルゼンチンアリ



外来カブトムシ(ゴホンヅノカブトムシ)



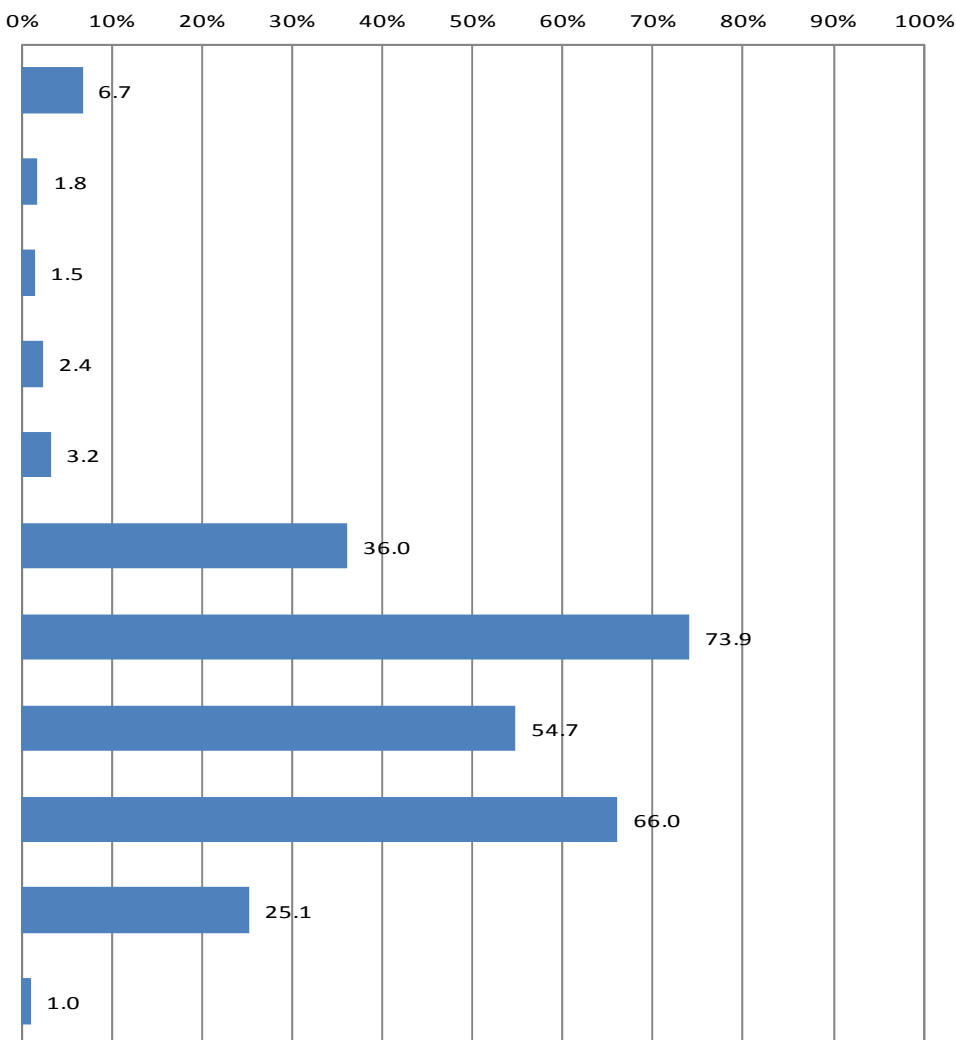
ホテイアオイ



オオキンケイギク

問9. 外来生物の防除（動物の駆除や植物の引き抜きなど）についてどのように考えますか。（複数回答可）

全体		実数	%
全体		1082	100.0
1	外来生物の輸入やペットとしての飼育を規制すれば十分であり、防除はしなくてもよい	73	6.7
2	外来生物の防除には多額の費用がかかるため、防除はしないほうがよい	20	1.8
3	いろいろな生物がいることは良いことなので、外来生物の防除はしないほうがよい	16	1.5
4	生き物の命は大切なので外来生物は防除するべきではない	26	2.4
5	防除した外来生物は殺さずに全て飼うべき	35	3.2
6	費用も引取場所も限られているので、防除した外来生物をできるだけ苦痛を与えない方法で殺処分することはやむをえない	390	36.0
7	生態系に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	800	73.9
8	農林水産業に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	592	54.7
9	人体に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	714	66.0
10	有用なものも含め、すべての外来生物について輸入等を規制し、防除すべき	272	25.1
11	その他	11	1.0



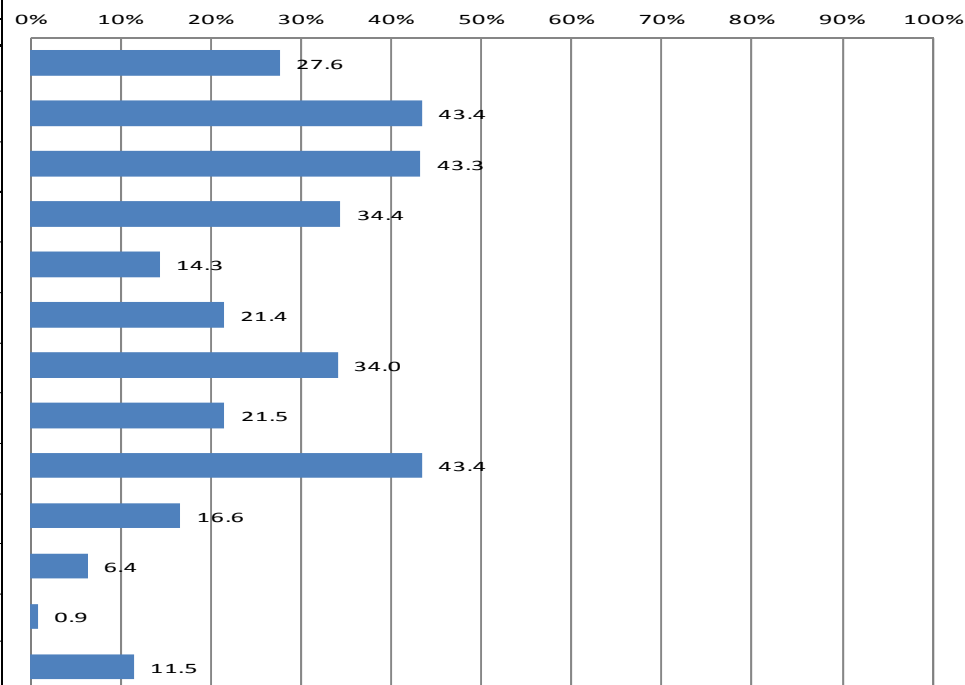
問9. 外来生物の防除（動物の駆除や植物の引き抜きなど）についてどのように考えますか。（複数回答可）

問9FA. その他の自由記述

	実数
全体	11
難しい問題なので答えがでない	1
ペットショップの動物輸入販売を生態系に有害なものは規制するべき。	1
完全に防ぐのは、むり。	1
保護すべき動物がすめる環境を整備	1
食べられるものは食べればよいと思うの	1
既に飼っているペットについては絶対に手放さないように通達、周知徹底させ、これから飼うペットの場合は、身分証明所などを提示させる。	1
外来生物を意図的に持ち込む業者、個人を徹底的に罰し保全費用を強制的に負担させるべき	1
わからない	2
特になし	2

問10. 外来生物についてのどのような情報がほしいですか。（複数回答可）

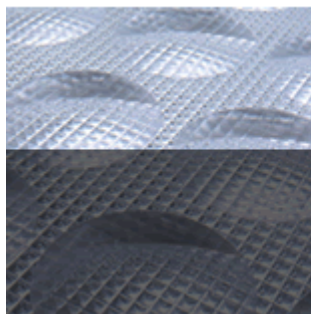
		実数	%
全体		1082	100.0
1	なぜ外来生物対策が必要なのかを解説した科学的な情報	299	27.6
2	個々の外来生物の性質についての情報（どのような影響があるのかや被害の発生状況など）	470	43.4
3	外来生物の分布（侵入）状況	468	43.3
4	外来生物の同定（判別）方法	372	34.4
5	外来生物をやむを得ず利用したり、飼育する場合の適切な取り扱い方法	155	14.3
6	外来生物法についての解説	232	21.4
7	外来生物の防除マニュアル	368	34.0
8	各地での外来生物防除の取組事例	233	21.5
9	外来生物を発見したときに、防除の依頼や防除方法を相談できる機関・団体の連絡先	470	43.4
10	外来生物の防除を行っているボランティア団体の紹介	180	16.6
11	外来生物問題に関する講演会情報	69	6.4
12	その他	10	0.9
13	特になし	124	11.5



問10FA. その他の自由記述

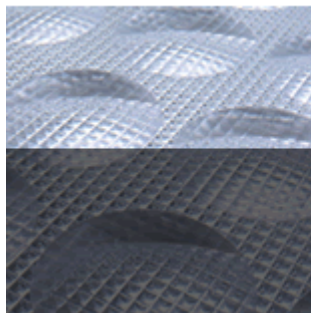
	実数
全体	10
小中高大の各レベルでの教育と犯罪で教育すべき。	1
地域や人体に被害を及ぼしたり危険性がある生物はすぐに駆除する必要がある。	1
人体に被害を及ぼす外来生物	1
捕まえたときの対処法	1
外来生物が日本の食物連鎖のなかでどの様に振舞うのかが分かる絵図。	1
テレビとかで詳しい情報	1
飼った事がないので分からない	1
危険な外来生物の情報	1
どれが外来生物なのかの資料	1
外来生物どこに住んでいるのか、好むのか	1

2-2. クロス集計



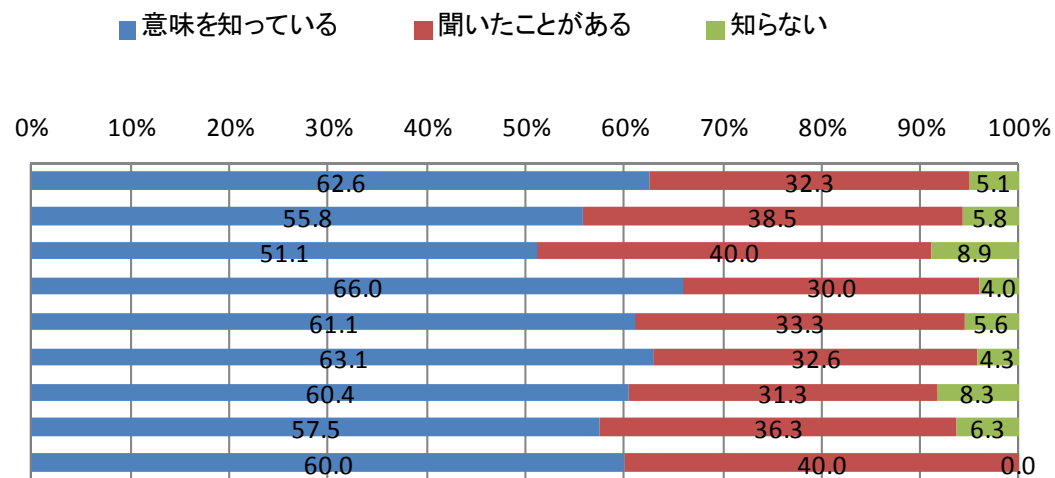
2-2-1.

「外来種」または「外来生物」認知度クロス集計結果



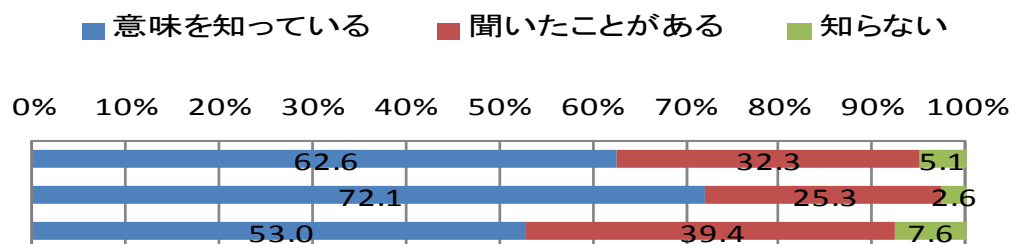
地域別×「外来種」または「外来生物」認知度

	意味を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	①62.6	②32.3	③5.1
北海道 (n=52)	①55.8	②38.5	③5.8
東北 (n=45)	①51.1	②40.0	③8.9
関東 (n=473)	①66.0	②30.0	③4.0
中部 (n=144)	①61.1	②33.3	③5.6
近畿 (n=187)	①63.1	②32.6	③4.3
中国四国 (n=96)	①60.4	②31.3	③8.3
九州 (n=80)	①57.5	②36.3	③6.3
沖縄 (n=5)	60.0	40.0	0.0



性別×「外来種」または「外来生物」認知度

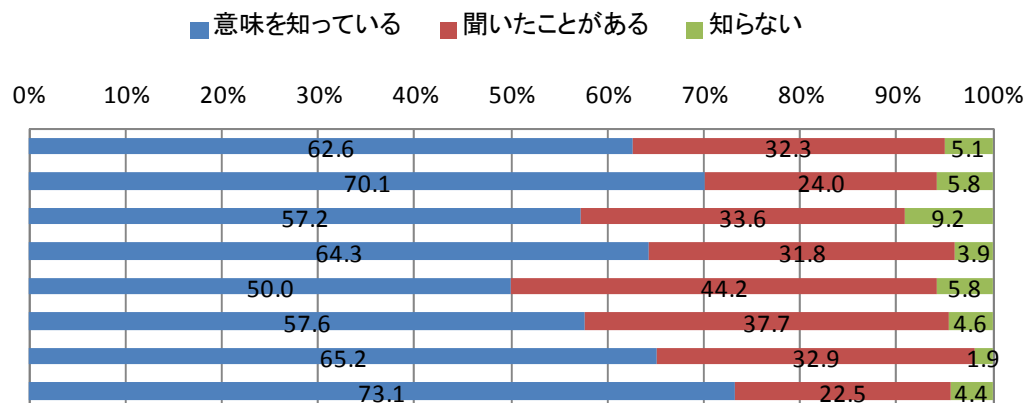
	意味を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	①62.6	②32.3	③5.1
男性 (n=542)	①72.1	②25.3	③2.6
女性 (n=540)	①53.0	②39.4	③7.6



* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

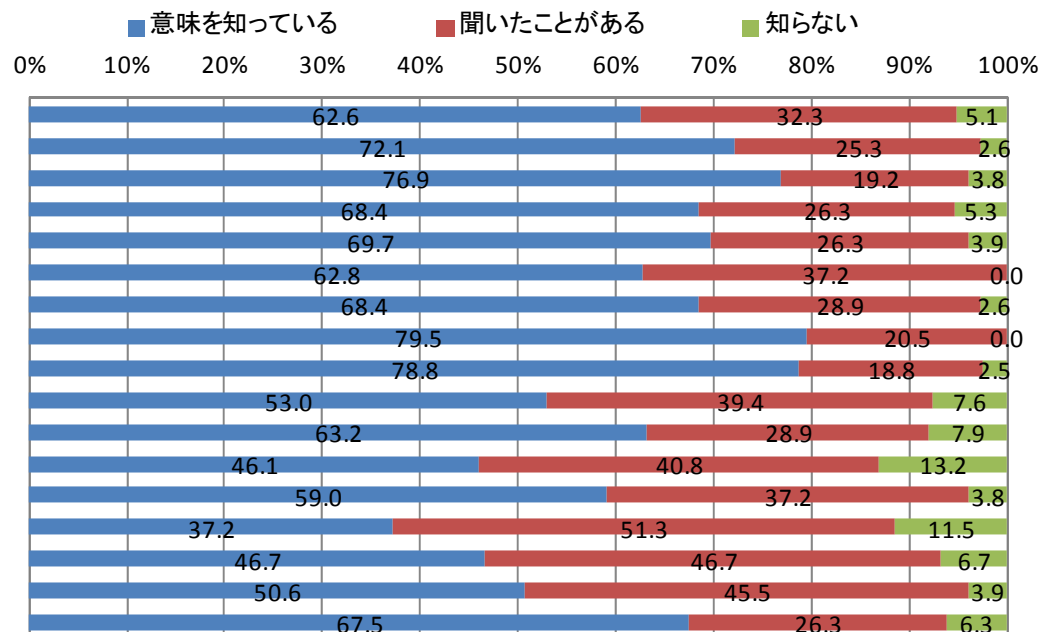
年齢別 × 「外来種」または「外来生物」認知度

	意味を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	①62.6	②32.3	③5.1
10代 (n=154)	①70.1	②24.0	③5.8
20代 (n=152)	①57.2	②33.6	③9.2
30代 (n=154)	①64.3	②31.8	③3.9
40代 (n=156)	①50.0	②44.2	③5.8
50代 (n=151)	①57.6	②37.7	③4.6
60代 (n=155)	①65.2	②32.9	③1.9
70代以上 (n=160)	①73.1	②22.5	③4.4



年齢・性別 × 「外来種」または「外来生物」認知度

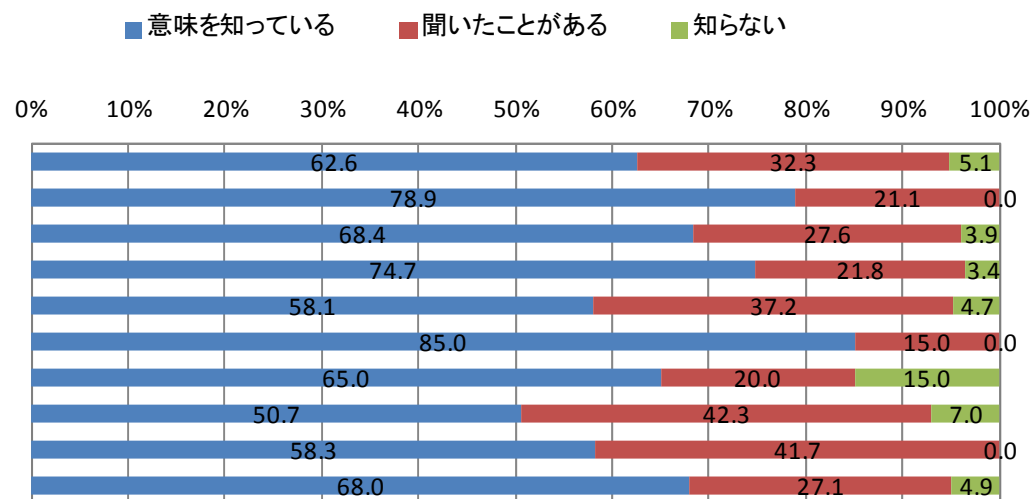
	意味を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	①62.6	②32.3	③5.1
男性 (n=542)	①72.1	②25.3	③2.6
10代 (n=78)	①76.9	②19.2	③3.8
20代 (n=76)	①68.4	②26.3	③5.3
30代 (n=76)	①69.7	②26.3	③3.9
40代 (n=78)	①62.8	②37.2	③0.0
50代 (n=76)	①68.4	②28.9	③2.6
60代 (n=78)	①79.5	②20.5	③0.0
70代以上 (n=80)	①78.8	②18.8	③2.5
女性 (n=540)	①53.0	②39.4	③7.6
10代 (n=76)	①63.2	②28.9	③7.9
20代 (n=76)	①46.1	②40.8	③13.2
30代 (n=78)	①59.0	②37.2	③3.8
40代 (n=78)	②37.2	①51.3	③11.5
50代 (n=75)	①46.7	①46.7	②6.7
60代 (n=77)	①50.6	②45.5	③3.9
70代以上 (n=80)	①67.5	②26.3	③6.3



* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

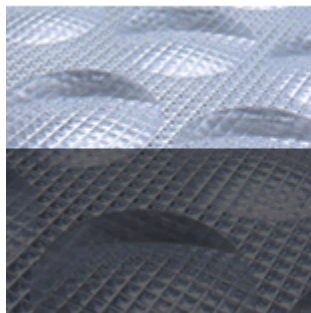
職業別×「外来種」または「外来生物」認知度

	意味を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	①62.6	②32.3	③5.1
中学生 (n=19)	78.9	21.1	0.0
高校生 (n=76)	①68.4	②27.6	③3.9
大学生 (n=87)	①74.7	②21.8	③3.4
会社員 (n=296)	①58.1	②37.2	③4.7
公務員 (n=20)	85.0	15.0	0.0
教職員 (n=20)	65.0	20.0	15.0
主婦 (主夫) (n=227)	①50.7	②42.3	③7.0
農林漁業者 (n=12)	58.3	41.7	0.0
その他 (n=325)	①68.0	②27.1	③4.9



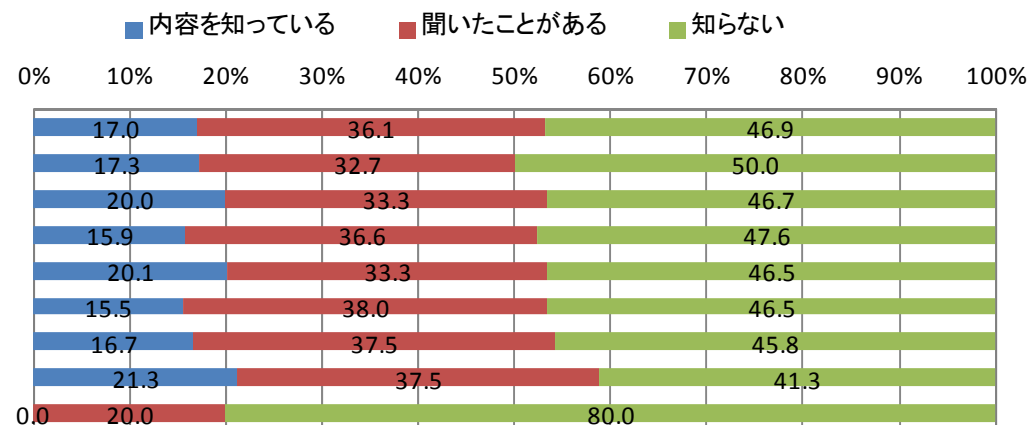
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

2-2-2. 「外来生物法」の認知度クロス集計結果



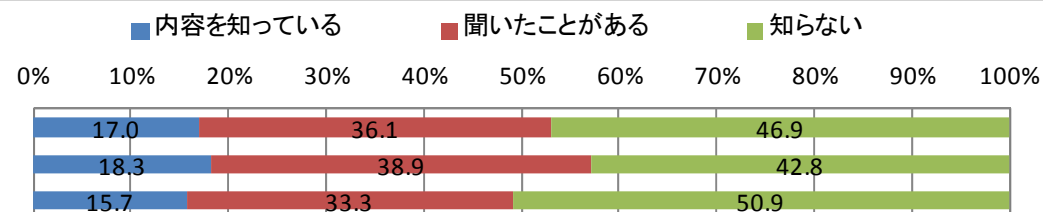
地域別 × 「外来生物法」認知度

	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	③17.0	②36.1	①46.9
北海道 (n=52)	③17.3	②32.7	①50.0
東北 (n=45)	③20.0	②33.3	①46.7
関東 (n=473)	③15.9	②36.6	①47.6
中部 (n=144)	③20.1	②33.3	①46.5
近畿 (n=187)	③15.5	②38.0	①46.5
中国四国 (n=96)	③16.7	②37.5	①45.8
九州 (n=80)	③21.3	②37.5	①41.3
沖縄 (n=5)	0.0	20.0	80.0



性別 × 「外来生物法」認知度

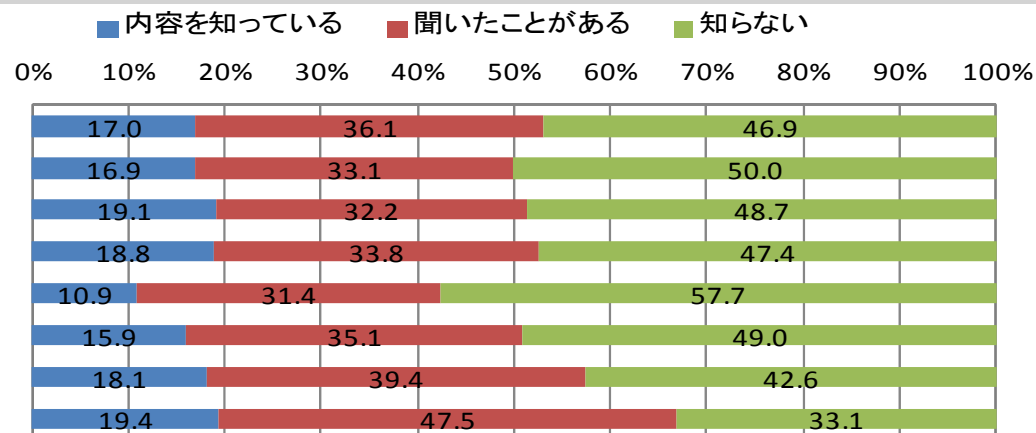
	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	③17.0	②36.1	①46.9
男性 (n=542)	③18.3	②38.9	①42.8
女性 (n=540)	③15.7	②33.3	①50.9



* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

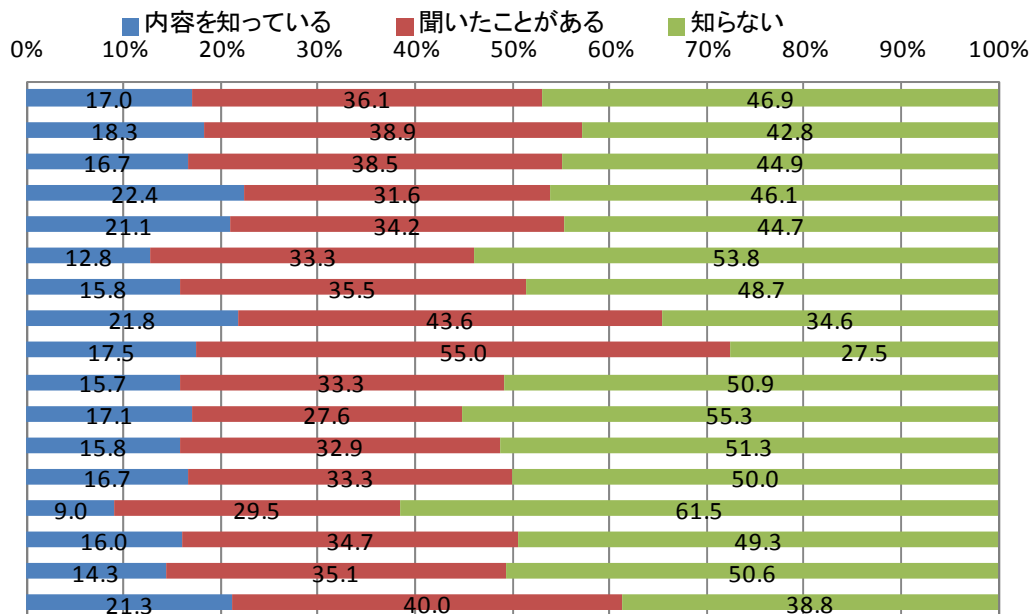
年齢別 × 「外来生物法」認知度

	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	③17.0	②36.1	①46.9
10代 (n=154)	③16.9	②33.1	①50.0
20代 (n=152)	③19.1	②32.2	①48.7
30代 (n=154)	③18.8	②33.8	①47.4
40代 (n=156)	③10.9	②31.4	①57.7
50代 (n=151)	③15.9	②35.1	①49.0
60代 (n=155)	③18.1	②39.4	①42.6
70代以上 (n=160)	③19.4	①47.5	②33.1



年齢・性別 × 「外来生物法」認知度

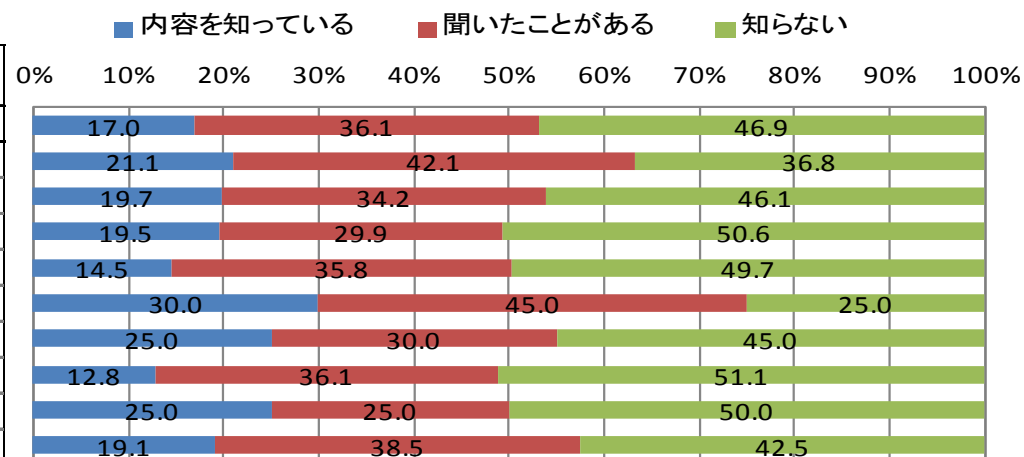
	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	③17.0	②36.1	①46.9
男性 (n=542)	③18.3	②38.9	①42.8
10代 (n=78)	③16.7	②38.5	①44.9
20代 (n=76)	③22.4	②31.6	①46.1
30代 (n=76)	③21.1	②34.2	①44.7
40代 (n=78)	③12.8	②33.3	①53.8
50代 (n=76)	③15.8	②35.5	①48.7
60代 (n=78)	③21.8	①43.6	②34.6
70代以上 (n=80)	③17.5	①55.0	②27.5
女性 (n=540)	③15.7	②33.3	①50.9
10代 (n=76)	③17.1	②27.6	①55.3
20代 (n=76)	③15.8	②32.9	①51.3
30代 (n=78)	③16.7	②33.3	①50.0
40代 (n=78)	③9.0	②29.5	①61.5
50代 (n=75)	③16.0	②34.7	①49.3
60代 (n=77)	③14.3	②35.1	①50.6
70代以上 (n=80)	③21.3	①40.0	②38.8



* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

職業別 × 「外来生物法」認知度

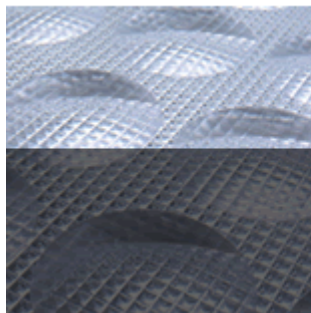
	内容を知っている	聞いたことがある	知らない
全体 (n=1082)	③17.0	②36.1	①46.9
中学生 (n=19)	21.1	42.1	36.8
高校生 (n=76)	③19.7	②34.2	①46.1
大学生 (n=87)	③19.5	②29.9	①50.6
会社員 (n=296)	③14.5	②35.8	①49.7
公務員 (n=20)	30.0	45.0	25.0
教職員 (n=20)	25.0	30.0	45.0
主婦(主夫) (n=227)	③12.8	②36.1	①51.1
農林漁業者 (n=12)	25.0	25.0	50.0
その他 (n=325)	③19.1	②38.5	①42.5



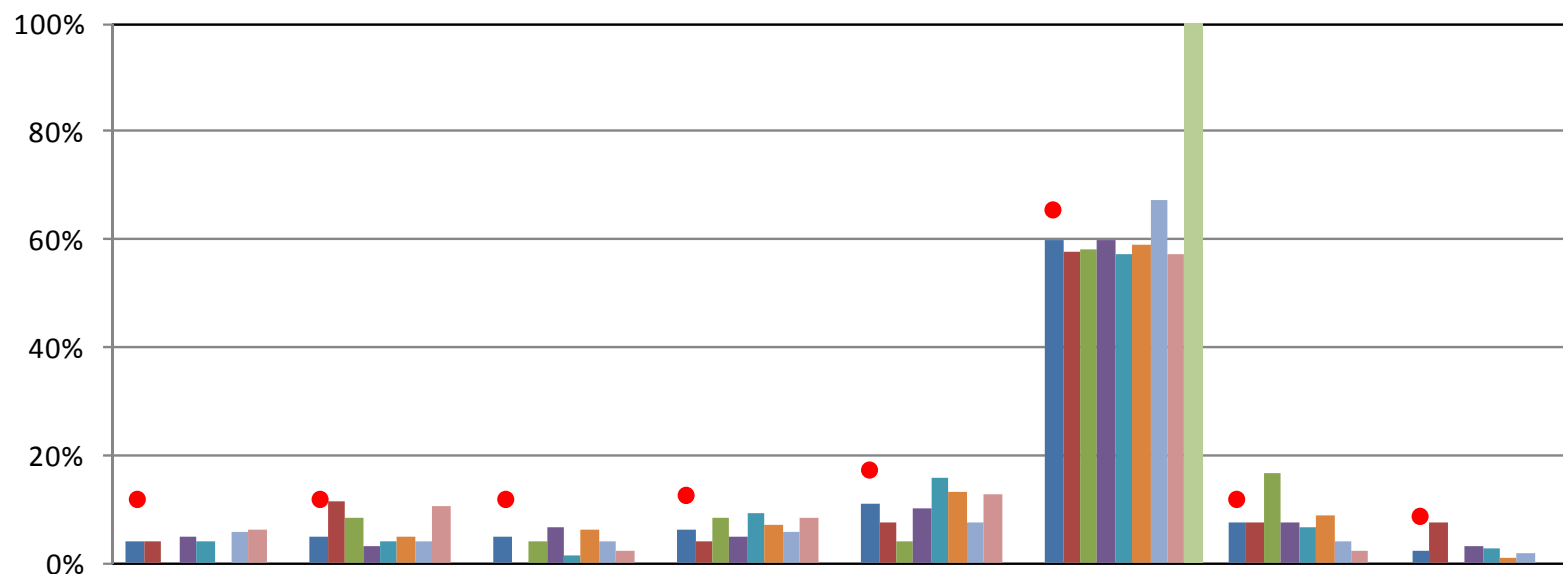
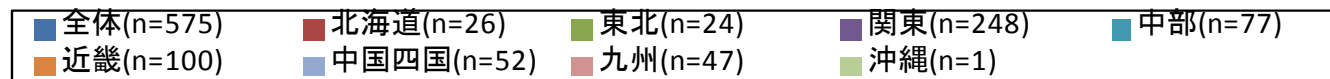
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

2-2-3.

「外来生物法」の認知経路クロス集計結果



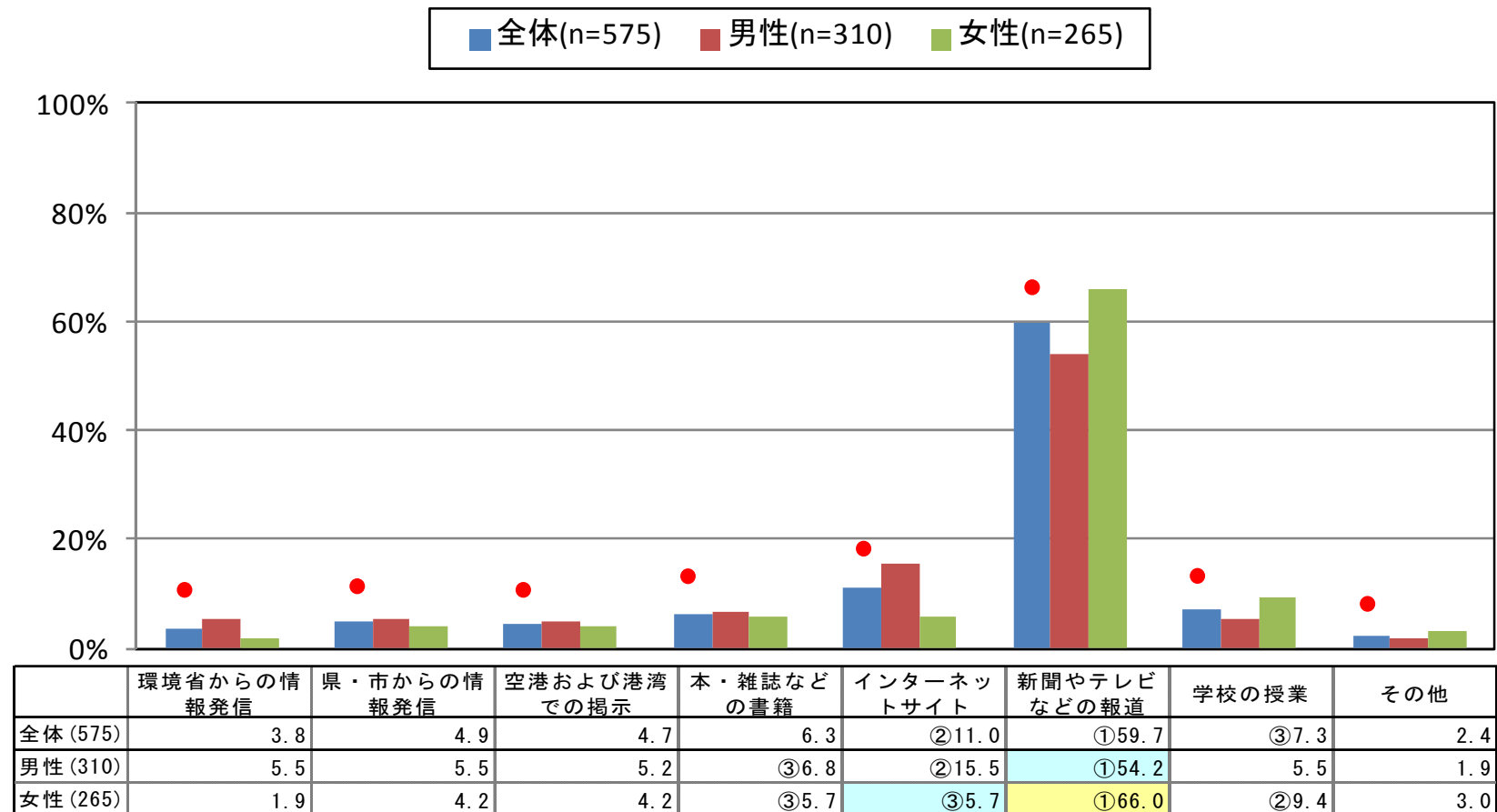
地域別 × 「外来生物法」認知経路



	環境省からの 情報発信	県・市からの 情報発信	空港および港 湾での掲示	本・雑誌など の書籍	インターネット サイト	新聞やテレビ などの報道	学校の授業	その他
全体 (575)	3.8	4.9	4.7	6.3	②11.0	①59.7	③7.3	2.4
北海道 (26)	3.8	11.5	0.0	3.8	7.7	57.7	7.7	7.7
東北 (24)	0.0	8.3	4.2	8.3	4.2	58.3	16.7	0.0
関東 (248)	4.8	3.2	6.5	4.8	②10.1	①59.7	③7.7	3.2
中部 (77)	3.9	3.9	1.3	③9.1	②15.6	①57.1	6.5	2.6
近畿 (100)	0.0	5.0	6.0	7.0	②13.0	①59.0	③9.0	1.0
中国四国 (52)	③5.8	3.8	3.8	③5.8	②7.7	①67.3	3.8	1.9
九州 (47)	6.4	③10.6	2.1	8.5	②12.8	①57.4	2.1	0.0
沖縄 (1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

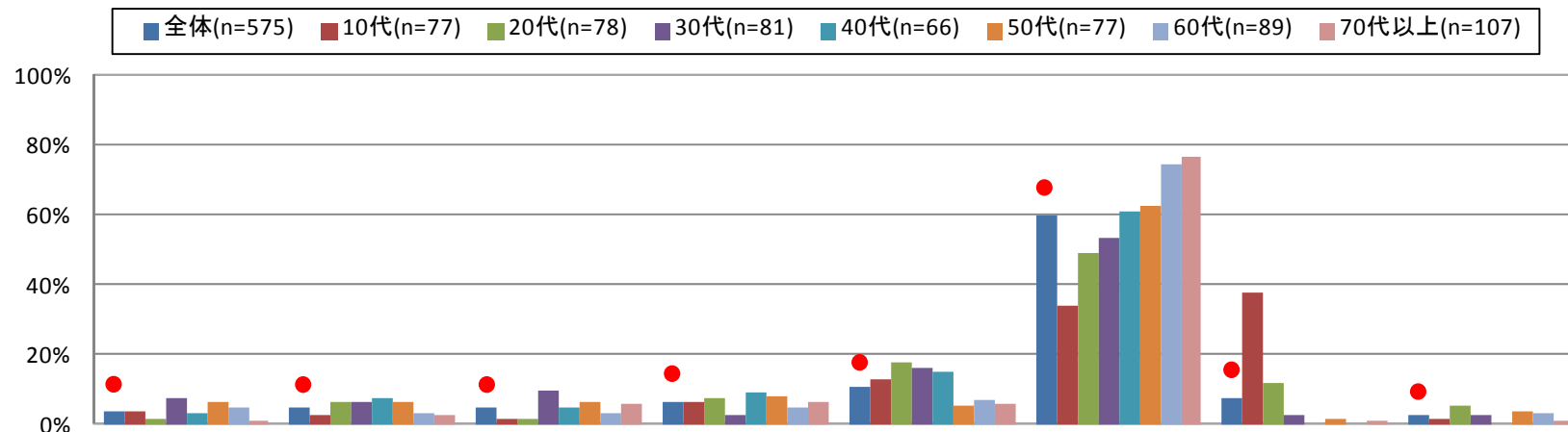
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

性別×「外来生物法」の認知経路



* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

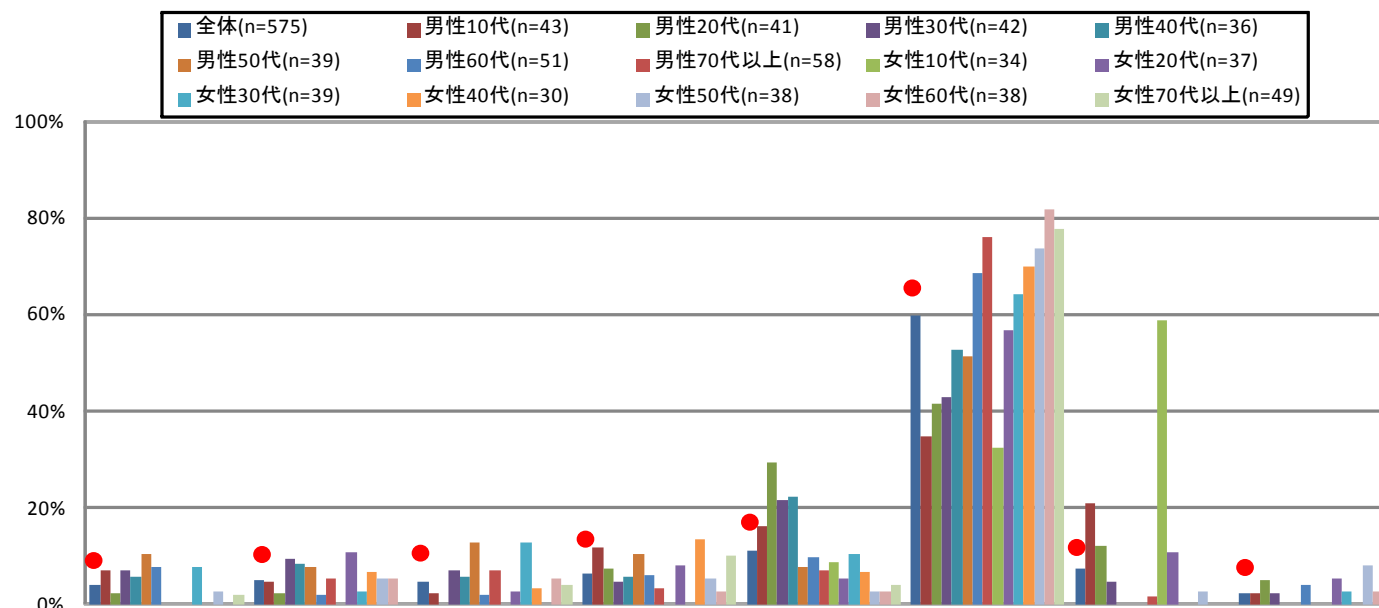
年齢別 × 「外来生物法」 認知経路



	環境省からの 情報発信	県・市からの 情報発信	空港および港 湾での掲示	本・雑誌など の書籍	インターネッ トサイト	新聞やテレビ などの報道	学校の授業	その他
全体 (575)	3.8	4.9	4.7	6.3	②11.0	①59.7	③7.3	2.4
10代 (77)	3.9	2.6	1.3	6.5	③13.0	②33.8	①37.7	1.3
20代 (78)	1.3	6.4	1.3	7.7	②17.9	①48.7	③11.5	5.1
30代 (81)	7.4	6.2	③9.9	2.5	②16.0	①53.1	2.5	2.5
40代 (66)	3.0	7.6	4.5	③9.1	②15.2	①60.6	0.0	0.0
50代 (77)	③6.5	③6.5	③6.5	②7.8	5.2	①62.3	1.3	3.9
60代 (89)	③4.5	3.4	3.4	③4.5	②6.7	①74.2	0.0	3.4
70代以上 (107)	0.9	2.8	③5.6	②6.5	③5.6	①76.6	0.9	0.9

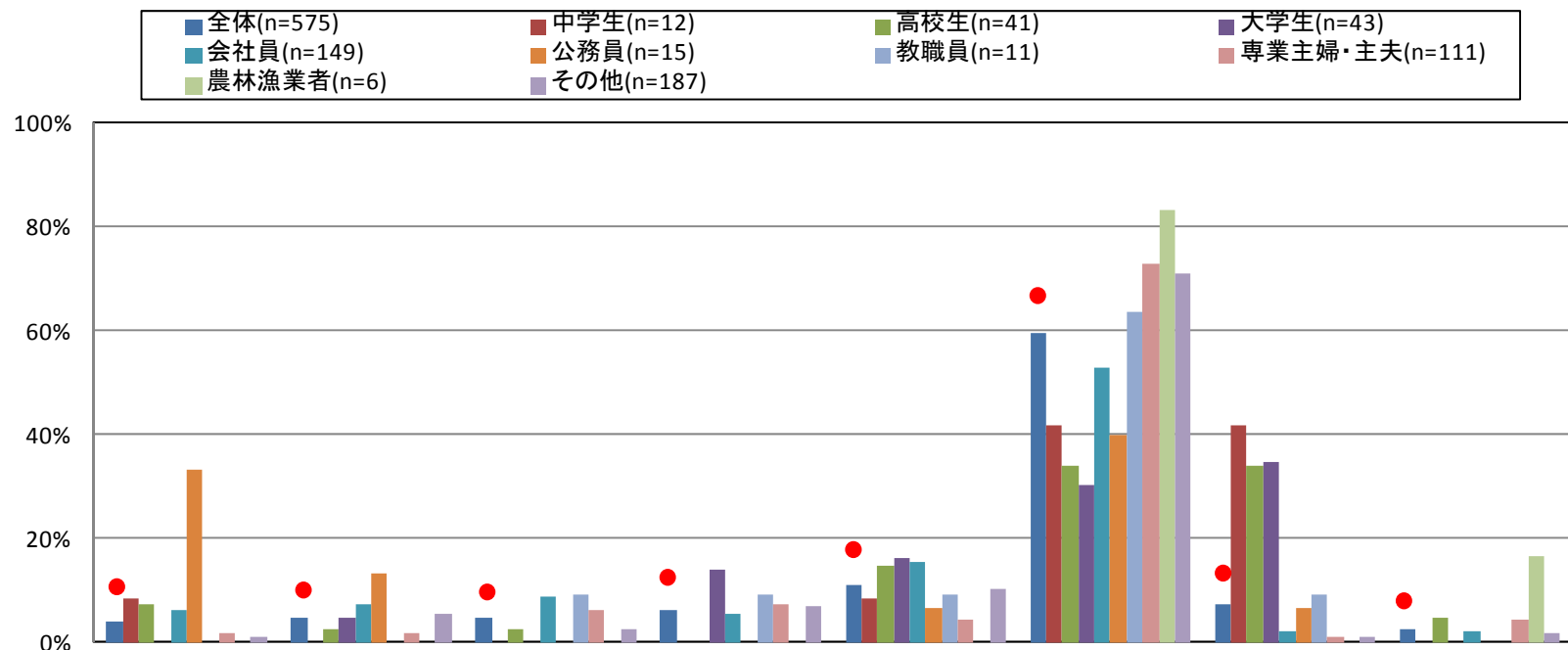
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

年齢・性別×「外来生物法」認知経路



	環境省からの 情報発信	県・市からの 情報発信	空港および港 湾での掲示	本・雑誌など の書籍	インターネット サイト	新聞やテレビ などの報道	学校の授業	その他
全体 (575)	3.8	4.9	4.7	6.3	②11.0	①59.7	③7.3	2.4
男性 (310)	5.5	5.5	5.2	③6.8	②15.5	①54.2	5.5	1.9
10代 (43)	7.0	4.7	2.3	11.6	③16.3	①34.9	②20.9	2.3
20代 (41)	2.4	2.4	0.0	7.3	②29.3	①41.5	③12.2	4.9
30代 (42)	7.1	③9.5	7.1	4.8	②21.4	①42.9	4.8	2.4
40代 (36)	5.6	③8.3	5.6	5.6	②22.2	①52.8	0.0	0.0
50代 (39)	③10.3	7.7	②12.8	③10.3	7.7	①51.3	0.0	0.0
60代 (51)	③7.8	2.0	2.0	5.9	②9.8	①68.6	0.0	3.9
70代以上 (58)	0.0	③5.2	②6.9	3.4	②6.9	①75.9	1.7	0.0
女性 (265)	1.9	4.2	4.2	③5.7	③5.7	①66.0	②9.4	3.0
10代 (34)	0.0	0.0	0.0	0.0	③8.8	②32.4	①58.8	0.0
20代 (37)	0.0	②10.8	2.7	③8.1	5.4	①56.8	②10.8	5.4
30代 (39)	7.7	2.6	②12.8	0.0	③10.3	①64.1	0.0	2.6
40代 (30)	0.0	③6.7	3.3	②13.3	③6.7	①70.0	0.0	0.0
50代 (38)	2.6	③5.3	0.0	③5.3	2.6	①73.7	2.6	②7.9
60代 (38)	0.0	②5.3	②5.3	③2.6	③2.6	①81.6	0.0	③2.6
70代以上 (49)	2.0	0.0	③4.1	②10.2	③4.1	①77.6	0.0	2.0

職業別 × 「外来生物法」 認知経路

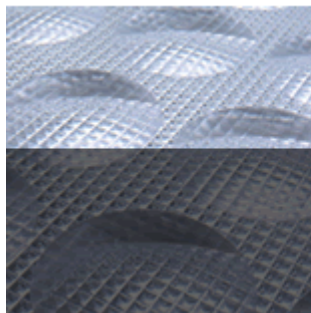


	環境省からの 情報発信	県・市からの 情報発信	空港および港 湾での掲示	本・雑誌など の書籍	インターネッ トサイト	新聞やテレビ などの報道	学校の授業	その他
全体 (575)	3.8	4.9	4.7	6.3	②11.0	①59.7	③7.3	2.4
中学生 (12)	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7	41.7	0.0
高校生 (41)	③7.3	2.4	2.4	0.0	②14.6	①34.1	①34.1	4.9
大学生 (43)	0.0	4.7	0.0	14.0	③16.3	②30.2	①34.9	0.0
会社員 (149)	6.0	7.4	③8.7	5.4	②15.4	①53.0	2.0	2.0
公務員 (15)	33.3	13.3	0.0	0.0	6.7	40.0	6.7	0.0
教職員 (11)	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	63.6	9.1	0.0
主婦(主夫) (111)	1.8	1.8	③6.3	②7.2	4.5	①73.0	0.9	4.5
農林漁業者 (6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7
その他 (187)	1.1	5.3	2.7	③7.0	②10.2	①71.1	1.1	1.6

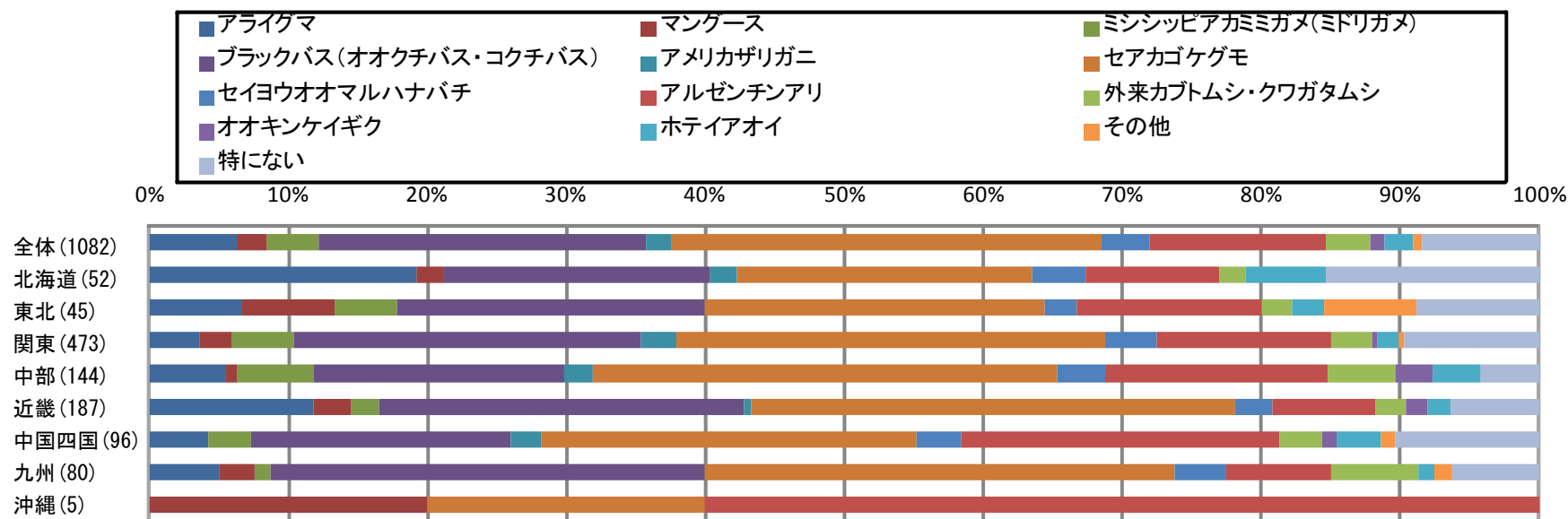
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

2-2-4.

特に対策を実施すべきと思う外来生物クロス集計結果



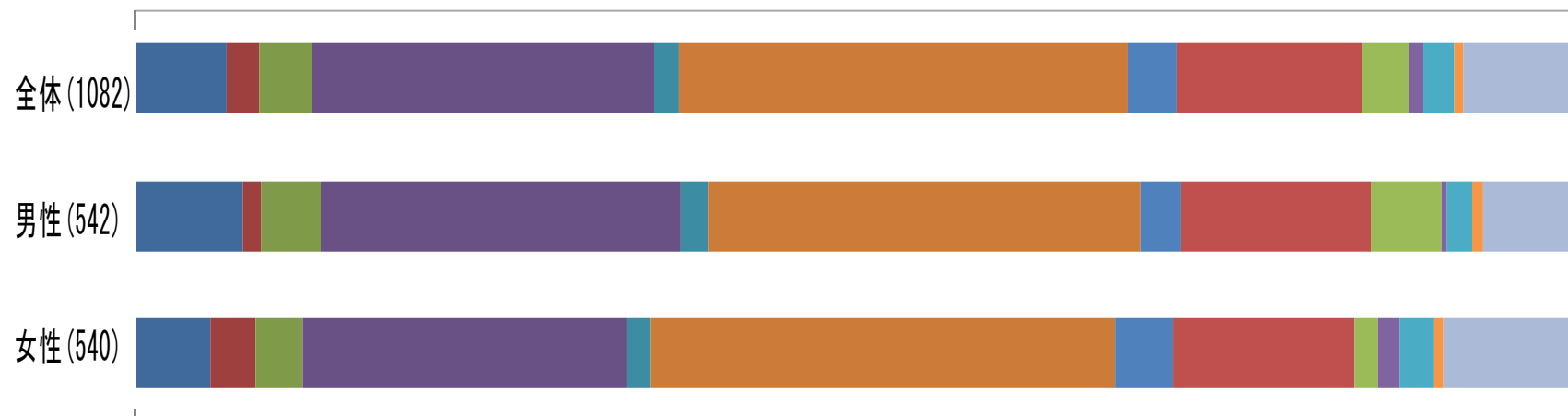
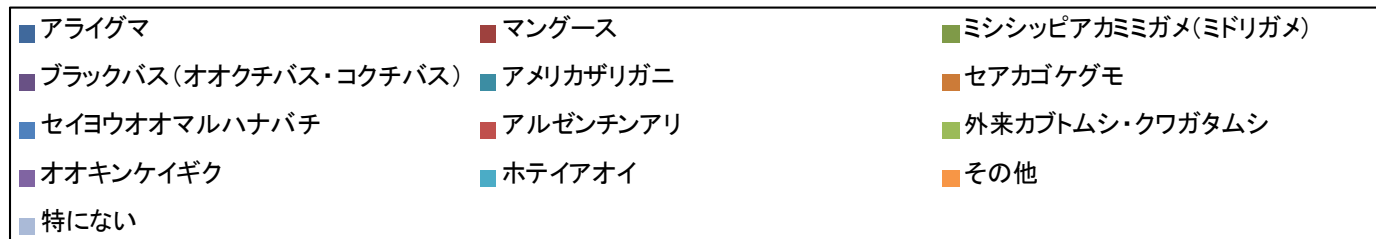
地域別×特に対策を実施すべきと思う外来生物



	アライグマ	マンゲース	ミシシipp アカミミガ メ (ミドリ ガメ)	ブラックバ ス (オオク チバス・コ クチバス)	アメリカザ リガニ	セアカゴケ グモ	セイヨウオ オマルハナ バチ	アルゼンチ ンアリ	外来カブト ムシ・クワ ガタムシ	オオキンケ イギク	ホテイアオ イ	その他	特にない
全体 (1082)	6.3	2.2	3.6	②23.7	1.8	①31.0	3.4	③12.8	3.2	0.9	2.1	0.6	8.4
北海道 (52)	②19.2	1.9	0.0	②19.2	1.9	①21.2	3.8	9.6	1.9	0.0	5.8	0.0	③15.4
東北 (45)	6.7	6.7	4.4	②22.2	0.0	①24.4	2.2	③13.3	2.2	0.0	2.2	6.7	8.9
関東 (473)	3.6	2.3	4.4	②24.9	2.5	①30.9	3.8	③12.5	3.0	0.4	1.5	0.4	9.7
中部 (144)	5.6	0.7	5.6	②18.1	2.1	①33.3	3.5	③16.0	4.9	2.8	3.5	0.0	4.2
近畿 (187)	③11.8	2.7	2.1	②26.2	0.5	①34.8	2.7	7.5	2.1	1.6	1.6	0.0	6.4
中国四国 (96)	4.2	0.0	3.1	③18.8	2.1	①27.1	3.1	②22.9	3.1	1.0	3.1	1.0	10.4
九州 (80)	5.0	2.5	1.3	②31.3	0.0	①33.8	3.8	③7.5	6.3	0.0	1.3	1.3	6.3
沖縄 (5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

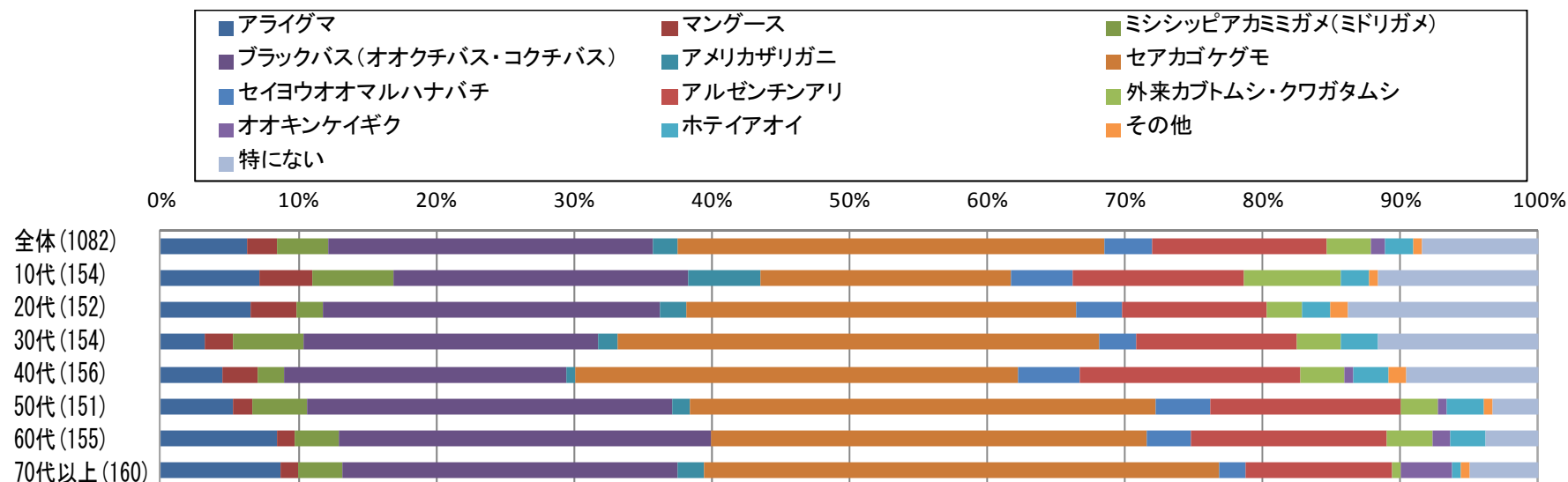
性別×特に対策を実施すべきと思う外来生物



	アライグマ	マングース	ミシシippアカミガメ(ミドリガメ)	ブラックバス(オオクチバス・コクチバス)	アメリカザリガニ	セアカゴケグモ	セイヨウオオマルハナバチ	アルゼンチンアリ	外来カブトムシ・クワガタムシ	オオキンケイギク	ホテイアオイ	その他	特にな
全体(1082)	6.3	2.2	3.6	②23.7	1.8	①31.0	3.4	③12.8	3.2	0.9	2.1	0.6	8.4
男性(542)	7.4	1.3	4.1	②24.9	1.8	①29.9	2.8	③13.1	4.8	0.4	1.8	0.7	7.0
女性(540)	5.2	3.1	3.1	②22.4	1.7	①32.0	4.1	③12.4	1.7	1.5	2.4	0.6	9.8

* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

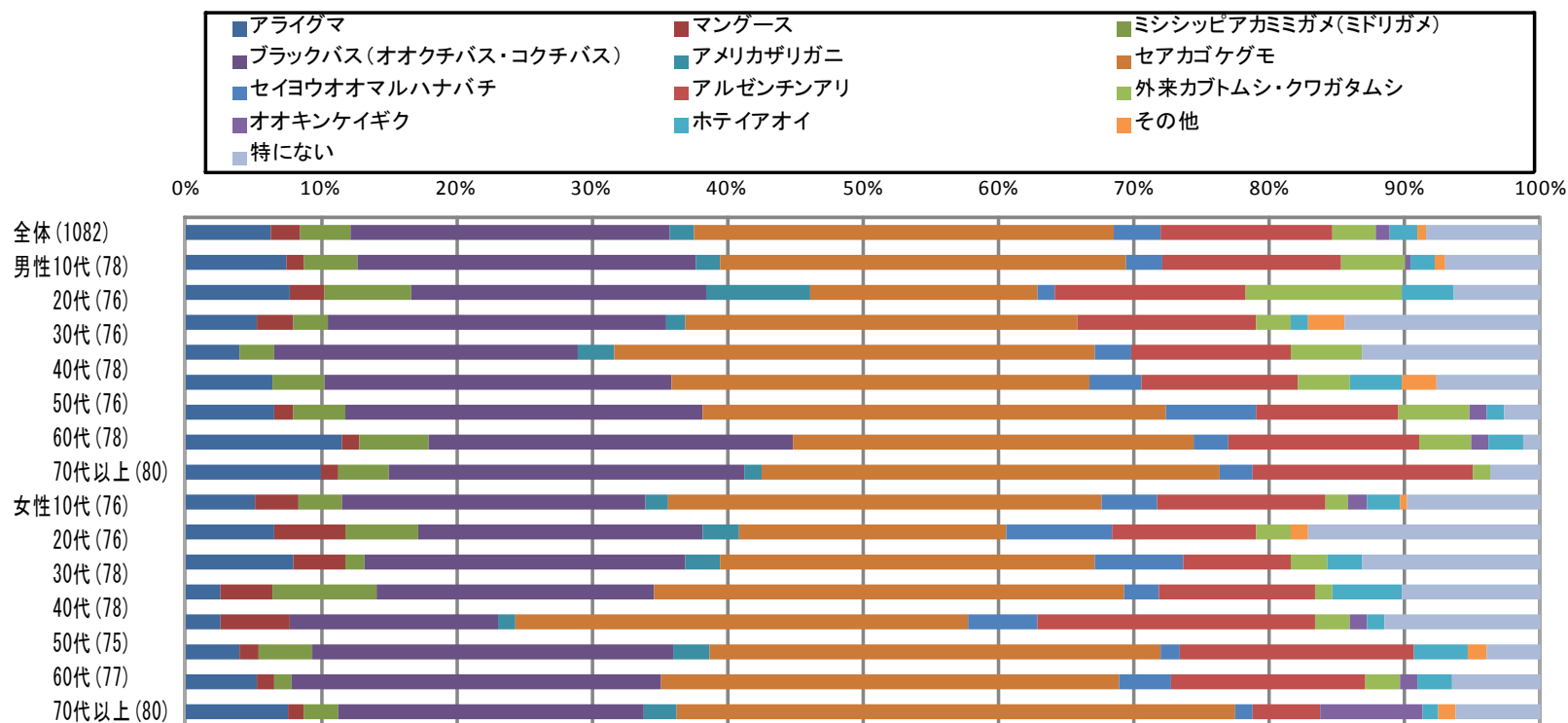
年齢別×特に対策を実施すべきと思う外来生物



	アライグマ	マングース	ミシシippアカミミガメ (ミドリガメ)	ブラックバス (オオクチバス・コクチバス)	アメリカザリガニ	セアカゴケグモ	セイヨウオオマルハナバチ	アルゼンチンアリ	外来カブトムシ・クワガタムシ	オオキンケイギク	ホテイアオイ	その他	特にない
全体 (1082)	6.3	2.2	3.6	②23.7	1.8	①31.0	3.4	③12.8	3.2	0.9	2.1	0.6	8.4
10代 (154)	7.1	3.9	5.8	①21.4	5.2	②18.2	4.5	③12.3	7.1	0.0	1.9	0.6	11.7
20代 (152)	6.6	3.3	2.0	②24.3	2.0	①28.3	3.3	10.5	2.6	0.0	2.0	1.3	③13.8
30代 (154)	3.2	1.9	5.2	②21.4	1.3	①35.1	2.6	③11.7	3.2	0.0	2.6	0.0	③11.7
40代 (156)	4.5	2.6	1.9	②20.5	0.6	①32.1	4.5	③16.0	3.2	0.6	2.6	1.3	9.6
50代 (151)	5.3	1.3	4.0	②26.5	1.3	①33.8	4.0	③13.9	2.6	0.7	2.6	0.7	③3.3
60代 (155)	8.4	1.3	3.2	②27.1	0.0	①31.6	3.2	③14.2	3.2	1.3	2.6	0.0	3.9
70代以上 (160)	8.8	1.3	3.1	②24.4	1.9	①37.5	1.9	③10.6	0.6	3.8	0.6	0.6	5.0

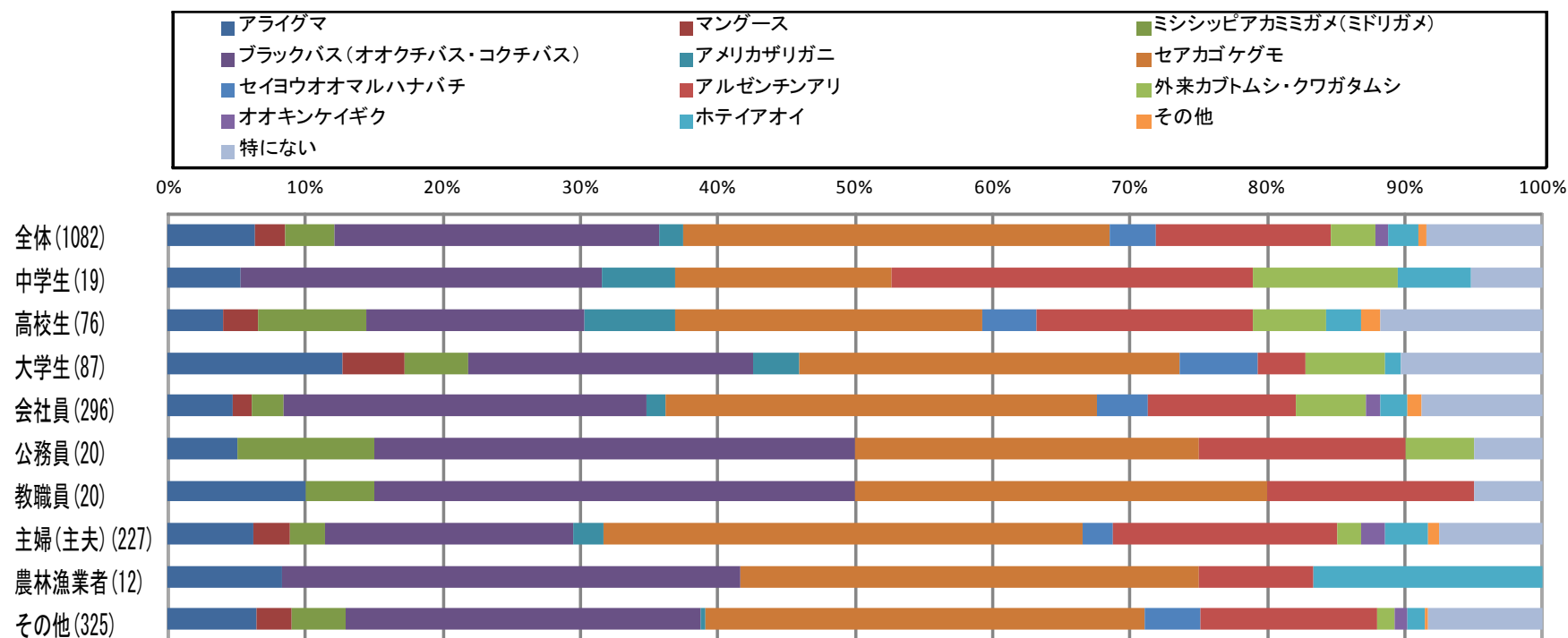
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

年齢・性別×特に対策を実施すべきと思う外来生物



	アライグマ	マングース	ミシシippアカミガメ(ミドリガメ)	ブラックバス(オオクチバス・コクチバス)	アメリカザリガニ	セアカゴケグモ	セイヨウオオマルハナバチ	アルゼンチンアリ	外来カブトムシ・クワガタムシ	オオキンケイギク	ホテイアオイ	その他	特にない
全体 (1082)	6.3	2.2	3.6	②23.7	1.8	①31.0	3.4	③12.8	3.2	0.9	2.1	0.6	8.4
男性 (542)	7.4	1.3	4.1	②24.9	1.8	①29.9	2.8	③13.1	4.8	0.4	1.8	0.7	7.0
10代 (78)	7.7	2.6	6.4	①21.8	7.7	②16.7	1.3	③14.1	11.5	0.0	3.8	0.0	6.4
20代 (76)	5.3	2.6	2.6	②25.0	1.3	①28.9	0.0	13.2	2.6	0.0	1.3	2.6	③14.5
30代 (76)	3.9	0.0	2.6	②22.4	2.6	①35.5	2.6	11.8	5.3	0.0	0.0	0.0	③13.2
40代 (78)	6.4	0.0	3.8	②25.6	0.0	①30.8	3.8	③11.5	3.8	0.0	3.8	2.6	7.7
50代 (76)	6.6	1.3	3.9	②26.3	0.0	①34.2	6.6	③10.5	5.3	1.3	1.3	0.0	2.6
60代 (78)	11.5	1.3	5.1	②26.9	0.0	①29.5	2.6	③14.1	3.8	1.3	2.6	0.0	1.3
70代以上 (80)	10.0	1.3	3.8	②26.3	1.3	①33.8	2.5	③16.3	1.3	0.0	0.0	0.0	3.8
女性 (540)	5.2	3.1	3.1	②22.4	1.7	①32.0	4.1	③12.4	1.7	1.5	2.4	0.6	9.8
10代 (76)	6.6	5.3	5.3	①21.1	2.6	②19.7	7.9	10.5	2.6	0.0	0.0	1.3	③17.1
20代 (76)	7.9	3.9	1.3	②23.7	2.6	①27.6	6.6	7.9	2.6	0.0	2.6	0.0	③13.2
30代 (78)	2.6	3.8	7.7	②20.5	0.0	①34.6	2.6	③11.5	1.3	0.0	5.1	0.0	10.3
40代 (78)	2.6	5.1	0.0	③15.4	1.3	①33.3	5.1	②20.5	2.6	1.3	1.3	0.0	11.5
50代 (75)	4.0	1.3	4.0	②26.7	2.7	①33.3	1.3	③17.3	0.0	0.0	4.0	1.3	4.0
60代 (77)	5.2	1.3	1.3	②27.3	0.0	①33.8	3.9	③14.3	2.6	1.3	2.6	0.0	6.5
70代以上 (80)	③7.5	1.3	2.5	②22.5	2.5	④41.3	1.3	5.0	0.0	③7.5	1.3	1.3	6.3

職業別×特に対策を実施すべきと思う外来生物

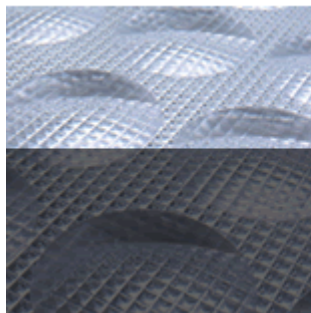


	アライグマ	マングース	ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)	ブラックバス(オオクチバス・コクチバス)	アメリカザリガニ	セアカゴケグモ	セイヨウオオマルハナバチ	アルゼンチンアリ	外来カブトムシ・クワガタムシ	オオキンケイギク	ホテイアオイ	その他	特にない
全体(1082)	6.3	2.2	3.6	②23.7	1.8	①31.0	3.4	③12.8	3.2	0.9	2.1	0.6	8.4
中学生(19)	5.3	0.0	0.0	26.3	5.3	15.8	0.0	26.3	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3
高校生(76)	3.9	2.6	7.9	②15.8	6.6	①22.4	3.9	②15.8	5.3	0.0	2.6	1.3	③11.8
大学生(87)	③12.6	4.6	4.6	②20.7	3.4	①27.6	5.7	3.4	5.7	0.0	1.1	0.0	10.3
会社員(296)	4.7	1.4	2.4	②26.4	1.4	①31.4	3.7	③10.8	5.1	1.0	2.0	1.0	8.8
公務員(20)	5.0	0.0	10.0	35.0	0.0	25.0	0.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0
教職員(20)	10.0	0.0	5.0	35.0	0.0	30.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
主婦(主夫)(227)	6.2	2.6	2.6	②18.1	2.2	①34.8	2.2	③16.3	1.8	1.8	3.1	0.9	7.5
農林漁業者(12)	8.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
その他(325)	6.5	2.5	4.0	②25.8	0.3	①32.0	4.0	③12.9	1.2	0.9	1.2	0.3	8.3

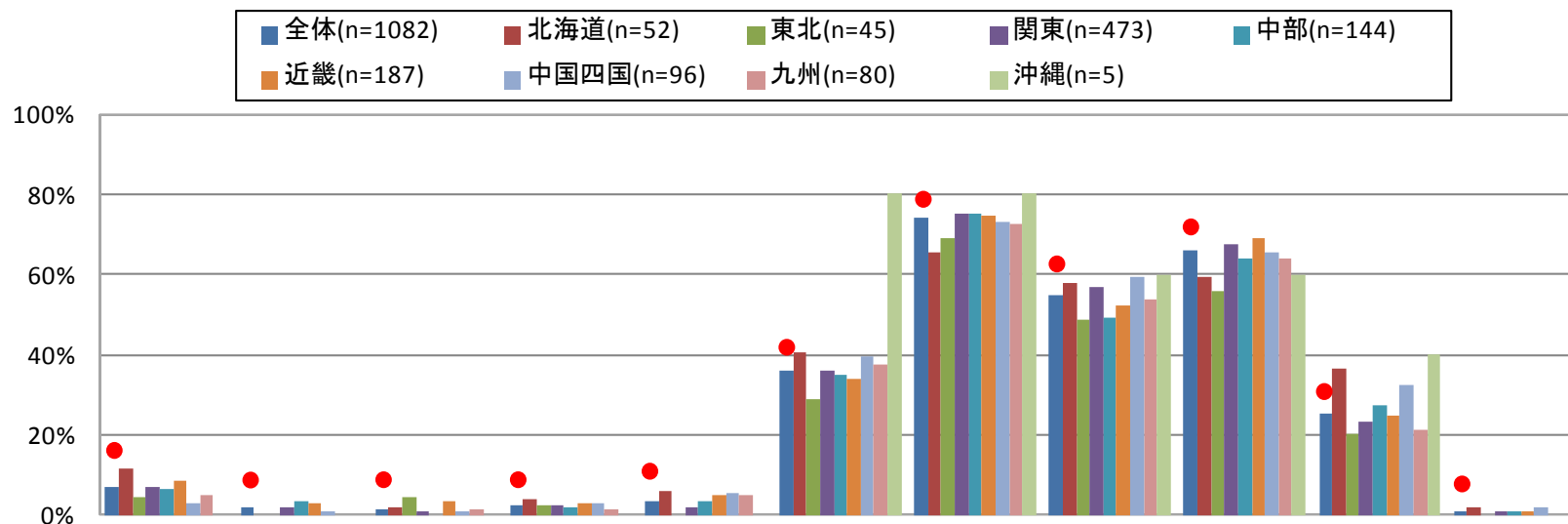
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

2-2-5.

外来生物の防除(動物の駆除や植物の引き抜き等)
についての考えクロス集計結果



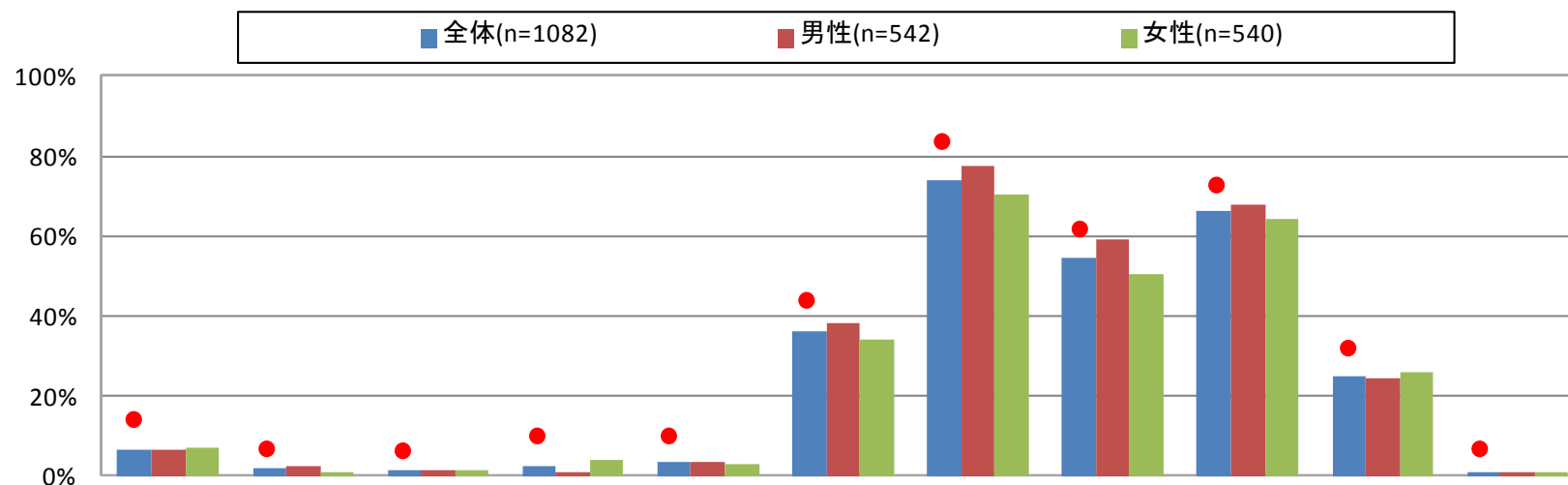
地域別×外来生物の防除(動物の駆除や植物の引き抜き等)についての考え



	外来生物の 輸入やペットとしての 飼育を規制すれば十分 であり、防除はしなく てもよい	外来生物の 防除には多額の費用が かかるため、防除は しないほうがよい	いろいろな 生物がいることは良い ことなので、外来生物 の防除はしないほうが よい	生き物の命 は大切なので外来生物 は防除するべきではない	防除した外 来生物は殺さずに全て 飼うべき	費用も引取 場所も限ら れているので、防除し た外来生物をできるだけ 苦痛を与えない方法で 殺処分することはや むをえない	生態系に被害を及ぼす 外来生物は防除すべき	農林水産業に被害を及ぼす 外来生物は防除すべき	人体に被害を及ぼす 外来生物は防除すべき	有用なものも含め、すべての 外来生物について輸入等 を規制し、防除すべき	その他
全体(1082)	6.7	1.8	1.5	2.4	3.2	36.0	①73.9	③54.7	②66.0	25.1	1.0
北海道(52)	11.5	0.0	1.9	3.8	5.8	40.4	①65.4	③57.7	②59.6	36.5	1.9
東北(45)	4.4	0.0	4.4	2.2	0.0	28.9	①68.9	③48.9	②55.6	20.0	0.0
関東(473)	7.0	1.9	1.1	2.3	1.9	36.2	①75.1	③56.7	②67.7	23.0	1.1
中部(144)	6.3	3.5	0.0	2.1	3.5	34.7	①75.0	③49.3	②63.9	27.1	0.7
近畿(187)	8.6	2.7	3.2	2.7	4.8	33.7	①74.9	③52.4	②69.0	24.6	1.1
中国四国(96)	3.1	1.0	1.0	3.1	5.2	39.6	①72.9	③59.4	②65.6	32.3	2.1
九州(80)	5.0	0.0	1.3	1.3	5.0	37.5	①72.5	③53.8	②63.8	21.3	0.0
沖縄(5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	80.0	60.0	60.0	40.0	0.0

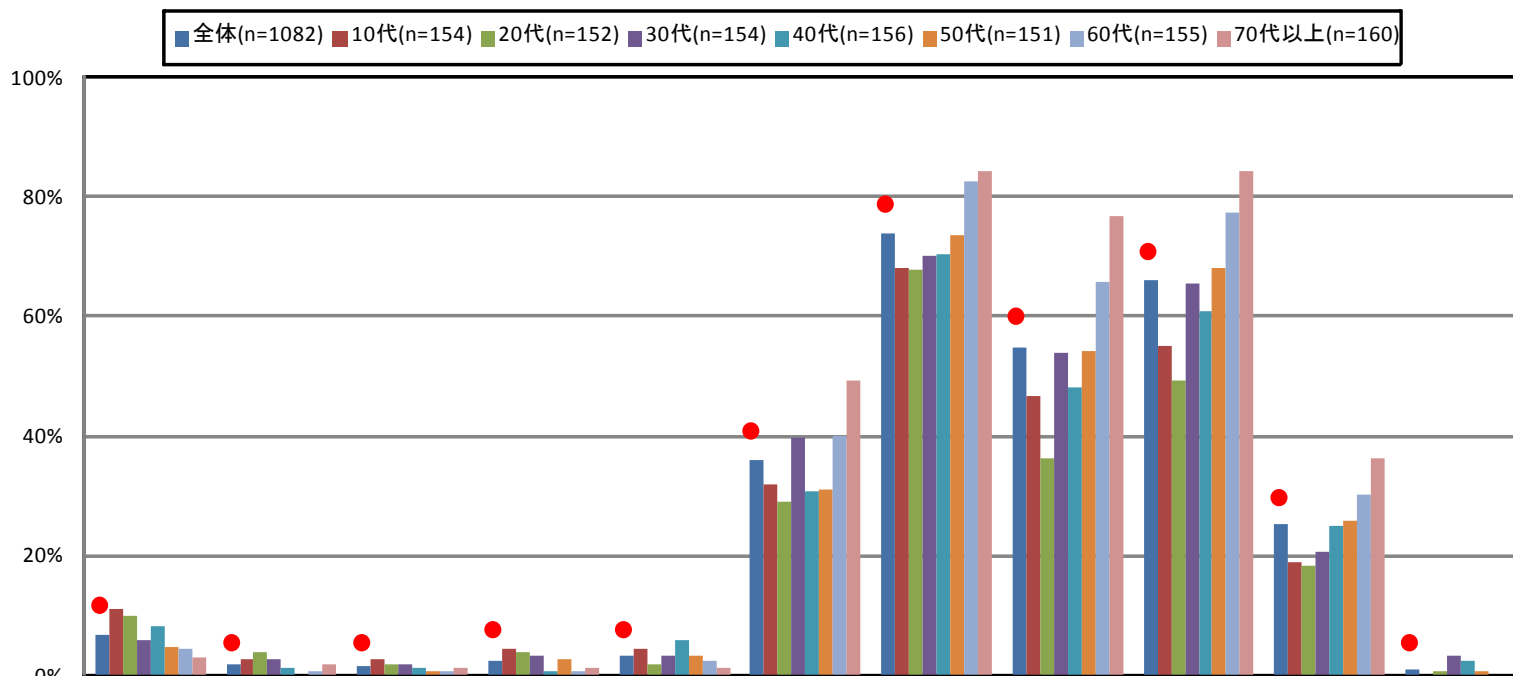
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

性別×外来生物の防除(動物の駆除や植物の引き抜き等)についての考え



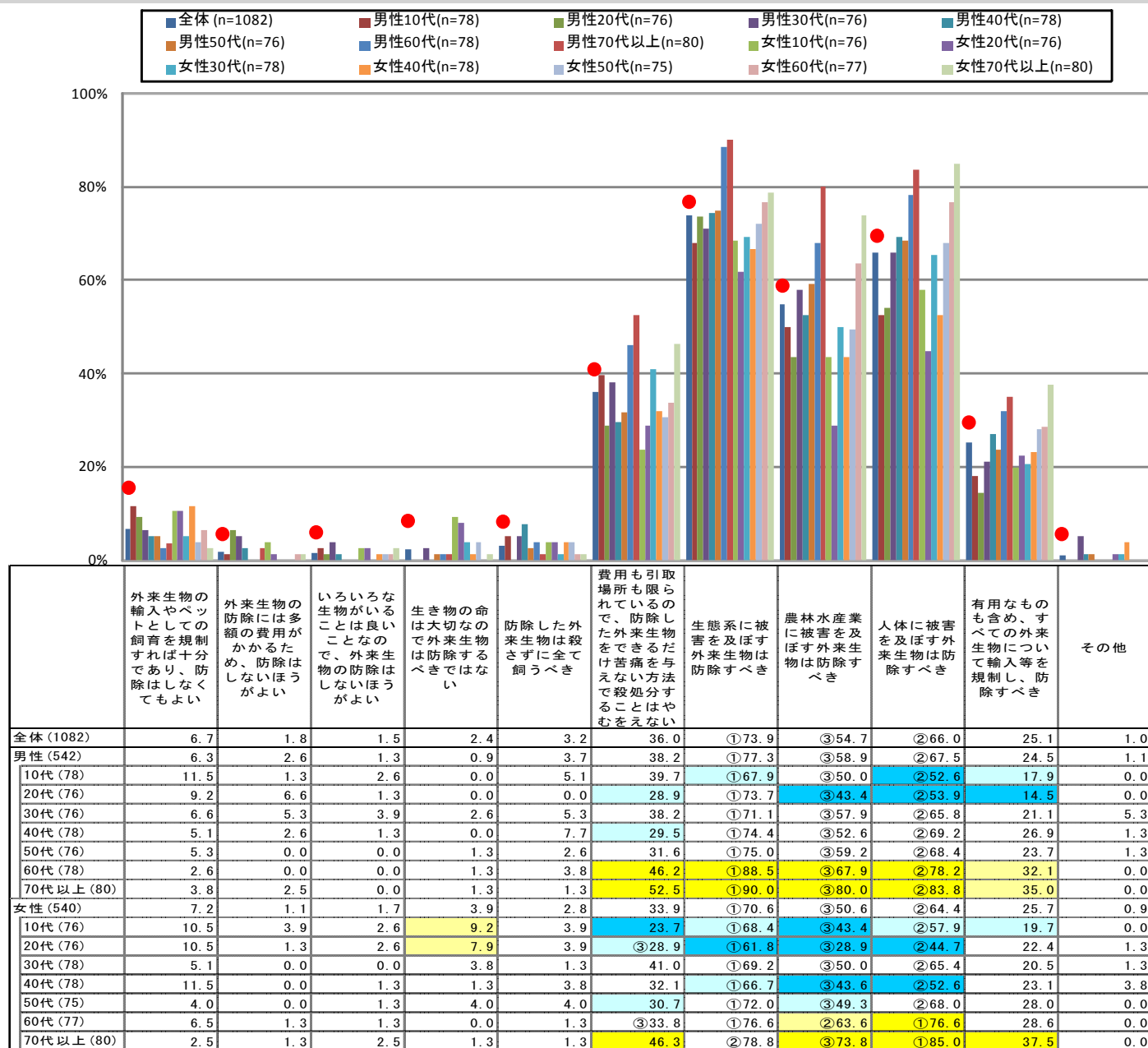
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

年齢別×外来生物の防除（動物の駆除や植物の引き抜き等）についての考え

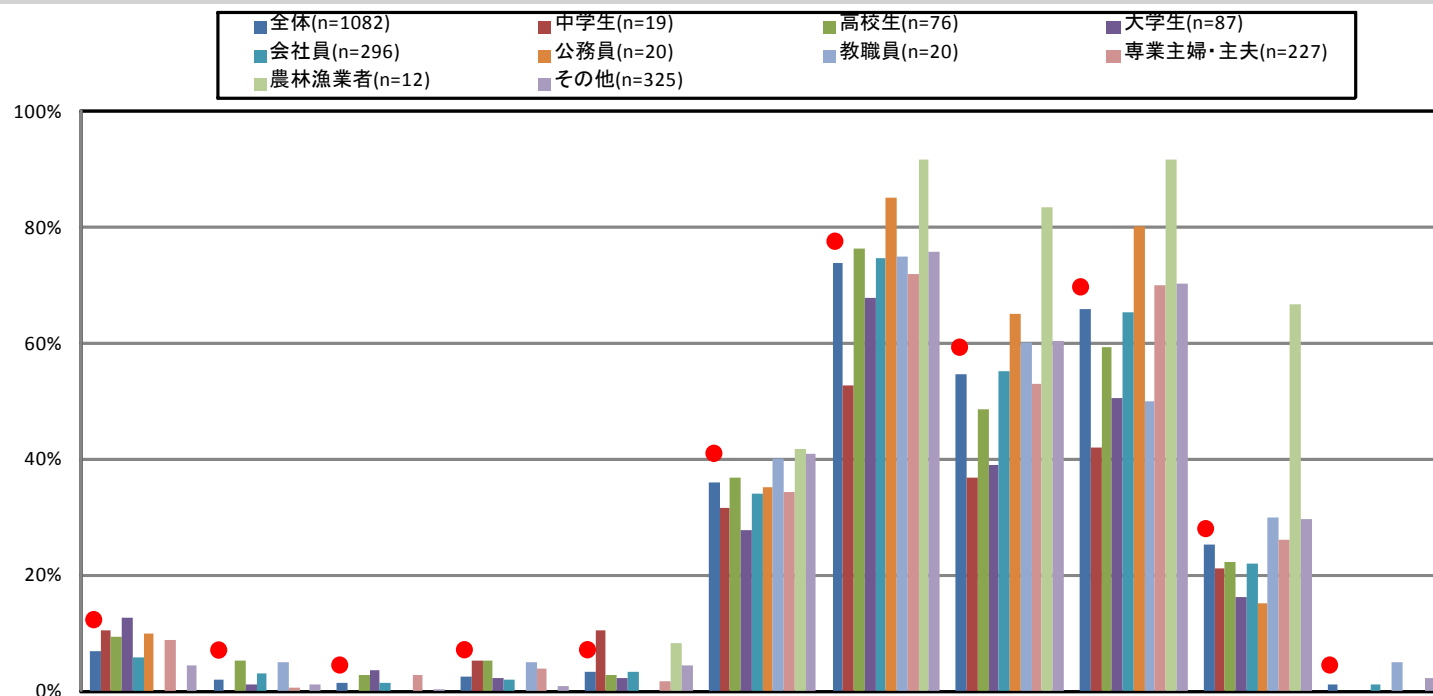


	外来生物の輸入やペットとしての飼育を規制すれば十分であり、防除はしなくてもよい	外来生物の防除には多額の費用がかかるため、防除はしないほうがよい	いろいろな生物がいることは良いことなので、外来生物の防除はしないほうがよい	生き物の命は大切なので外来生物は防除するべきではない	防除した外来生物は殺さずに全て飼うべき	費用も引取場所も限られているので、防除した外来生物をできるだけ苦痛を与えない方法で殺処分することはやむをえない	生態系に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	農林水産業に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	人体に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	有用なものも含め、すべての外来生物について輸入等を規制し、防除すべき	その他
全体 (1082)	6.7	1.8	1.5	2.4	3.2	36.0	①73.9	③54.7	②66.0	25.1	1.0
10代 (154)	11.0	2.6	2.6	4.5	4.5	31.8	①68.2	③46.8	②55.2	18.8	0.0
20代 (152)	9.9	3.9	2.0	3.9	2.0	28.9	①67.8	③36.2	②49.3	18.4	0.7
30代 (154)	5.8	2.6	1.9	3.2	3.2	39.6	①70.1	③53.9	②65.6	20.8	3.2
40代 (156)	8.3	1.3	1.3	0.6	5.8	30.8	①70.5	③48.1	②60.9	25.0	2.6
50代 (151)	4.6	0.0	0.7	2.6	3.3	31.1	①73.5	③54.3	②68.2	25.8	0.7
60代 (155)	4.5	0.6	0.6	0.6	2.6	40.0	①82.6	③65.8	②77.4	30.3	0.0
70代以上 (160)	3.1	1.9	1.3	1.3	1.3	③49.4	①84.4	②76.9	①84.4	36.3	0.0

年齢・性別×外来生物の防除(動物の駆除や植物の引き抜き等)についての考え



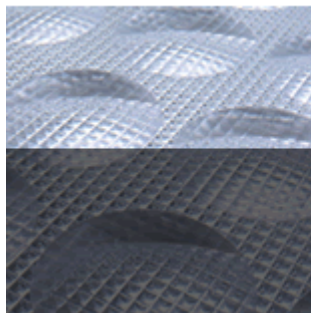
職業別×外来生物の防除(動物の駆除や植物の引き抜き等)についての考え



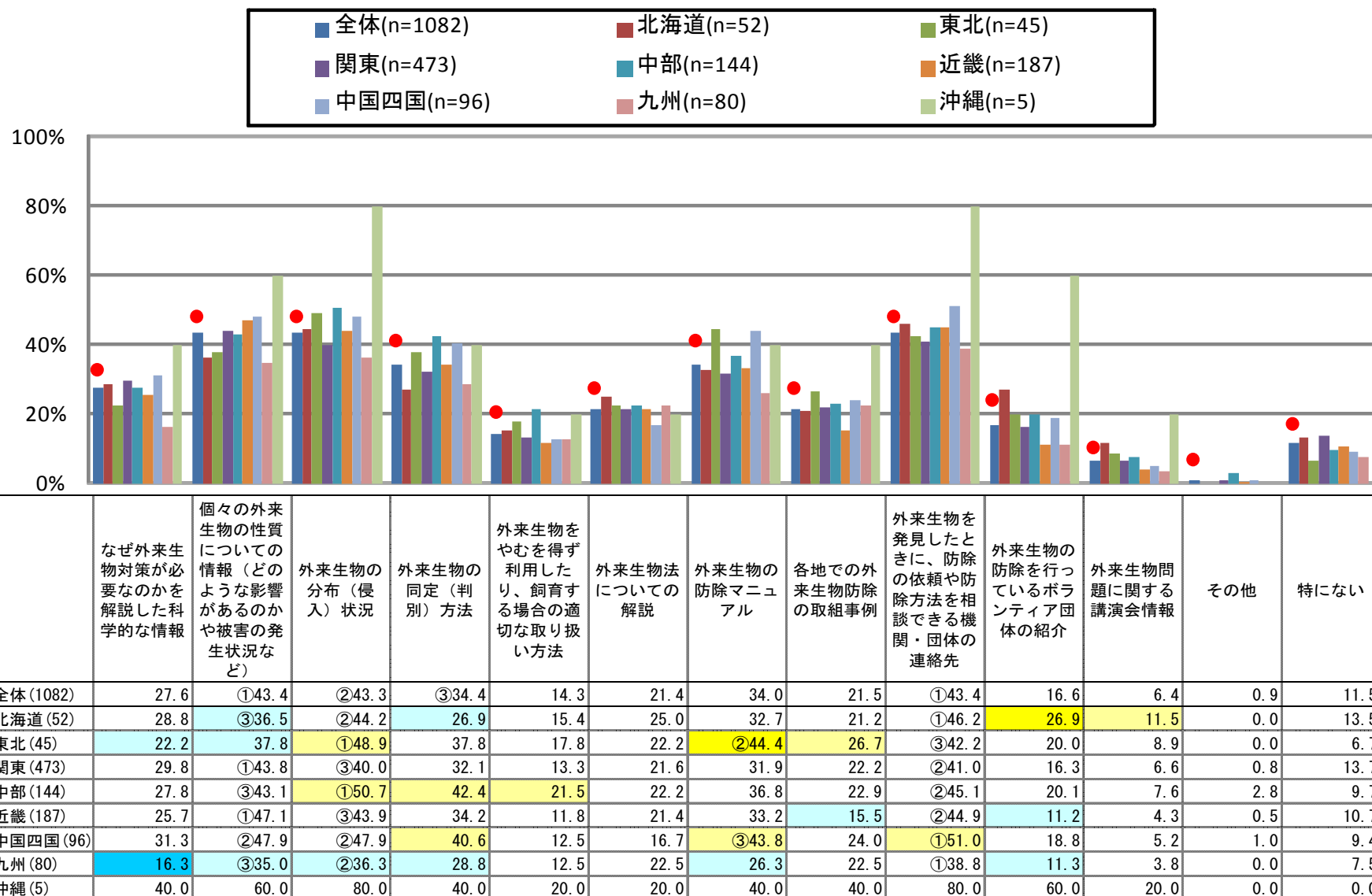
	外来生物の輸入やペットとしての飼育を規制すれば十分であり、防除はしなくてもよい	外来生物の防除には多額の費用がかかるため、防除はしないほうがよい	いろいろな生物がいることは良いことなので、外来生物の防除はしないほうがよい	生き物の命は大切なので外来生物は防除するべきではない	防除した外来生物は殺さずに全て飼うべき	費用も引取場所も限られているので、防除した外来生物をできるだけ苦痛を与えない方法で殺処分することはやむをえない	生態系に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	農林水産業に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	人体に被害を及ぼす外来生物は防除すべき	有用なものも含め、すべての外来生物について輸入等を規制し、防除すべき	その他
全体(1082)	6.7	1.8	1.5	2.4	3.2	36.0	①73.9	③54.7	②66.0	25.1	1.0
中学生(19)	10.5	0.0	0.0	5.3	10.5	31.6	52.6	36.8	42.1	21.1	0.0
高校生(76)	9.2	5.3	2.6	5.3	2.6	36.8	①76.3	③48.7	②59.2	22.4	0.0
大学生(87)	12.6	1.1	3.4	2.3	2.3	27.6	①67.8	③39.1	②50.6	16.1	0.0
会社員(296)	5.7	3.0	1.4	2.0	3.4	34.1	①74.7	③55.1	②65.2	22.0	1.0
公務員(20)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.0	85.0	65.0	80.0	15.0	0.0
教職員(20)	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	40.0	75.0	60.0	50.0	30.0	5.0
主婦(主夫)(227)	8.8	0.4	2.6	4.0	1.8	34.4	①71.8	③52.9	②70.0	26.0	0.0
農林漁業者(12)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7	91.7	83.3	91.7	66.7	0.0
その他(325)	4.3	1.2	0.3	0.9	4.3	40.9	①75.7	③60.3	②70.2	29.5	2.2

2-2-6.

外来生物について欲しい情報クロス集計結果

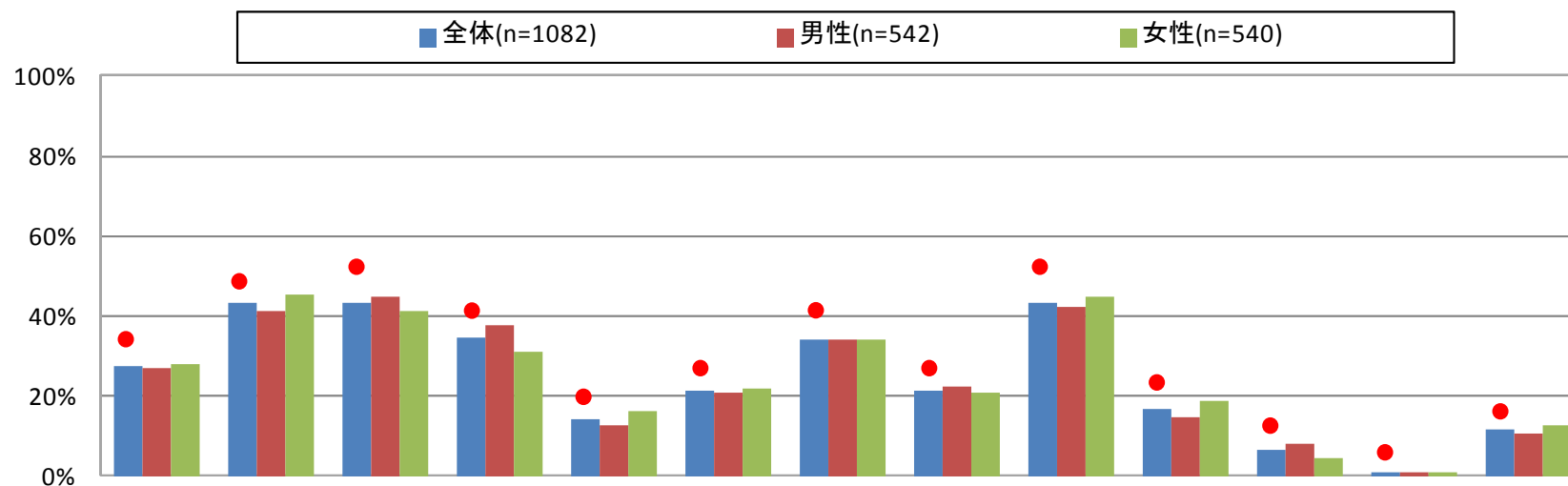


地域別×外来生物について欲しい情報



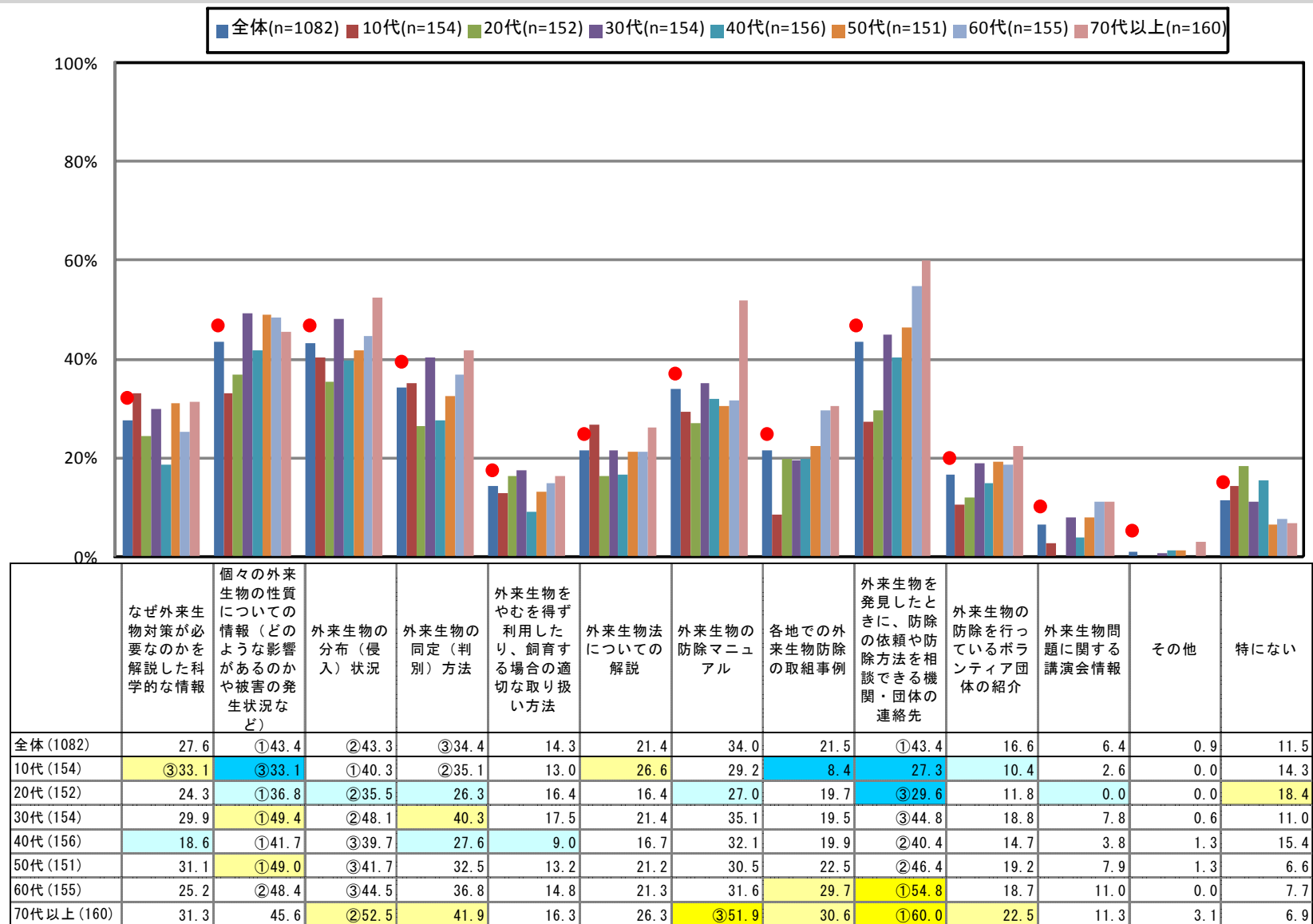
*（）内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

性別×外来生物について欲しい情報



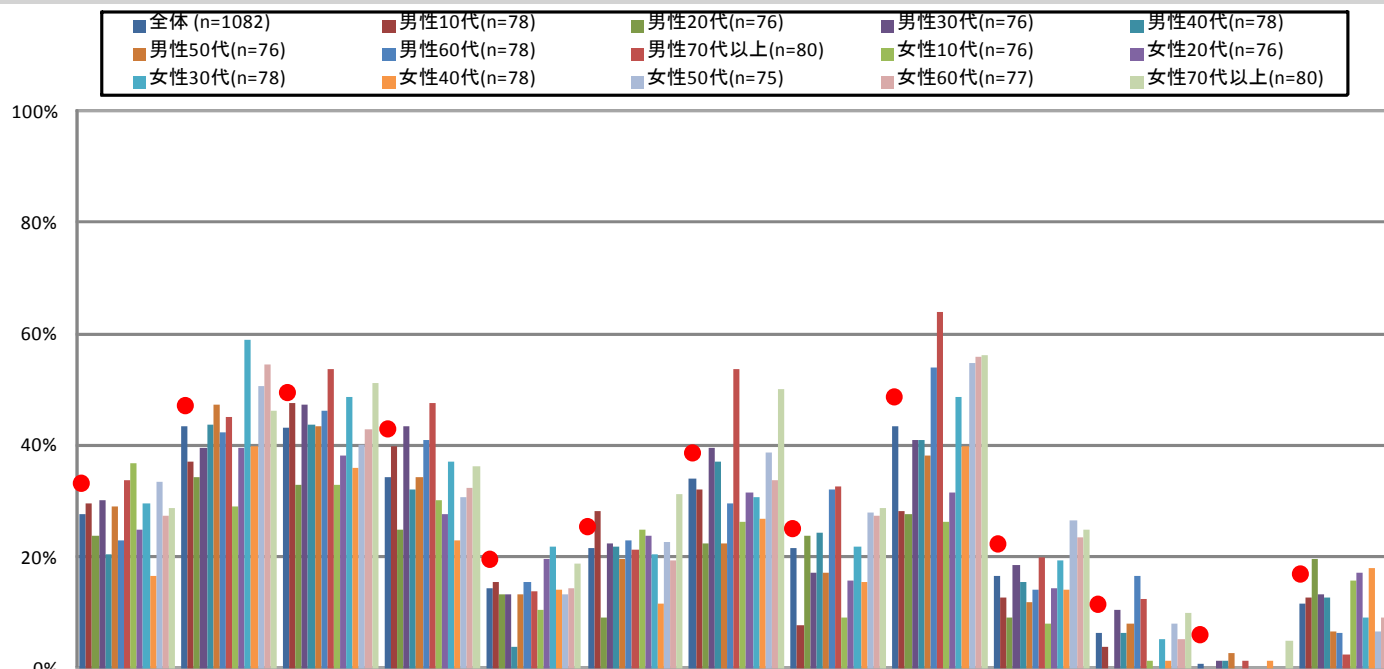
* () 内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

年齢別×外来生物について欲しい情報



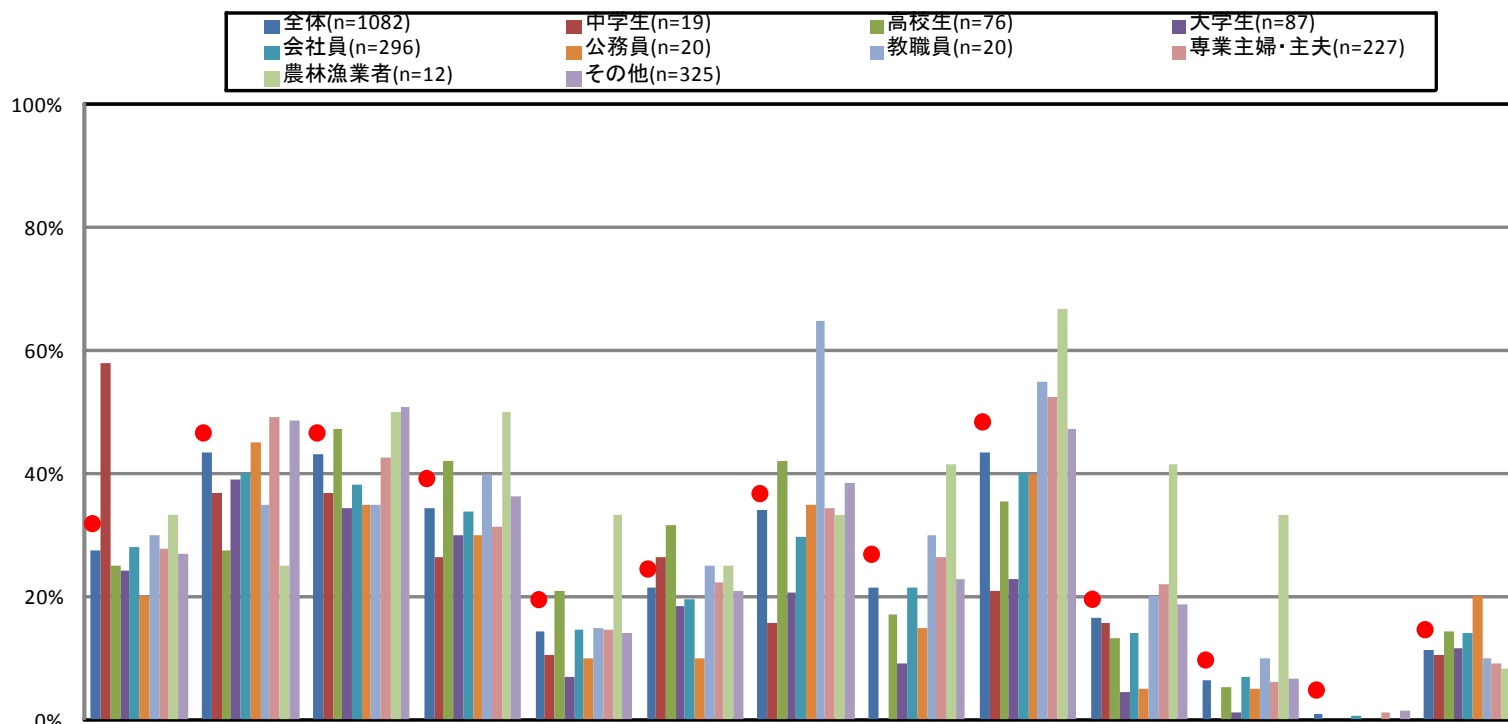
*（）内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

年齢・性別×外来生物について欲しい情報



	なぜ外来生物対策が必要なのかを解説した科学的な情報	個々の外来生物の性質についての情報（どのような影響があるのかや被害の発生状況など）	外来生物の分布（侵入）状況	外来生物の同定（判別）方法	外来生物をやむを得ず利用したり、飼育する場合の適切な取り扱い方法	外来生物法についての解説	外来生物の防除マニュアル	各地での外来生物防除の取組事例	外来生物を発見したときに、防除の依頼や防除方法を相談できる機関・団体の連絡先	外来生物の防除を行っているボランティア団体の紹介	外来生物問題に関する講演会情報	その他	特にない
全体 (1082)	27.6	①43.4	②43.3	③34.4	14.3	21.4	34.0	21.5	①43.4	16.6	6.4	0.9	11.5
男性 (542)	27.1	③41.3	①45.0	37.6	12.5	20.8	33.9	22.1	②42.1	14.6	8.3	0.9	10.5
10代 (78)	29.5	③37.2	①47.4	②39.7	15.4	28.2	32.1	7.7	28.2	12.8	3.8	0.0	12.8
20代 (76)	23.7	①34.2	②32.9	25.0	13.2	9.2	22.4	23.7	③27.6	9.2	0.0	0.0	19.7
30代 (76)	30.3	39.5	①47.4	②43.4	13.2	22.4	39.5	17.1	③40.8	18.4	10.5	1.3	13.2
40代 (78)	20.5	①43.6	①43.6	32.1	3.8	21.8	③37.2	24.4	②41.0	15.4	6.4	1.3	12.8
50代 (76)	28.9	①47.4	②43.4	34.2	13.2	19.7	22.4	17.1	③38.2	11.8	7.9	2.6	6.6
60代 (78)	23.1	③42.3	②46.2	41.0	15.4	23.1	29.5	32.1	①53.8	14.1	16.7	0.0	6.4
70代以上 (80)	33.8	45.0	②53.8	③47.5	13.8	21.3	②53.8	32.5	①63.8	20.0	12.5	1.3	2.5
女性 (540)	28.1	①45.6	③41.5	31.1	16.1	22.0	34.1	20.9	②44.8	18.7	4.4	0.9	12.4
10代 (76)	①36.8	28.9	②32.9	③30.3	10.5	25.0	26.3	9.2	26.3	7.9	1.3	0.0	15.8
20代 (76)	25.0	①39.5	②38.2	27.6	19.7	23.7	③31.6	15.8	③31.6	14.5	0.0	0.0	17.1
30代 (78)	29.5	①59.0	②48.7	③37.2	21.8	20.5	30.8	21.8	②48.7	19.2	5.1	0.0	9.0
40代 (78)	16.7	①39.7	②35.9	23.1	14.1	11.5	③26.9	15.4	①39.7	14.1	1.3	1.3	17.9
50代 (75)	33.3	②50.7	③40.0	30.7	13.3	22.7	38.7	28.0	①54.7	26.7	8.0	0.0	6.7
60代 (77)	27.3	②54.5	③42.9	32.5	14.3	19.5	33.8	27.3	①55.8	23.4	5.2	0.0	9.1
70代以上 (80)	28.8	46.3	②51.3	36.3	18.8	31.3	③50.0	28.8	①56.3	25.0	10.0	5.0	11.3

職業別×外来生物について欲しい情報



	なぜ外来生物対策が必要なのかを解説した科学的な情報	個々の外来生物の性質についての情報（どのような影響があるのかや被害の発生状況など）	外来生物の分布（侵入）状況	外来生物の同定（判別）方法	外来生物をやむを得ず利用したり、飼育する場合の適切な取り扱い方法	外来生物法についての解説	外来生物の防除マニュアル	各地での外来生物防除の取組事例	外来生物を発見したときに、防除の依頼や防除方法を相談できる機関・団体の連絡先	外来生物の防除を行っているボランティア団体の紹介	外来生物問題に関する講演会情報	その他	特にない
全体 (1082)	27.6	①43.4	②43.3	③34.4	14.3	21.4	34.0	21.5	①43.4	16.6	6.4	0.9	11.5
中学生 (19)	57.9	36.8	36.8	26.3	10.5	26.3	15.8	0.0	21.1	15.8	0.0	0.0	10.5
高校生 (76)	25.0	27.6	①47.4	②42.1	21.1	31.6	②42.1	17.1	③35.5	13.2	5.3	0.0	14.5
大学生 (87)	24.1	①39.1	②34.5	③29.9	6.9	18.4	20.7	9.2	23.0	4.6	1.1	0.0	11.5
会社員 (296)	28.0	①40.2	②38.2	③33.8	14.5	19.6	29.7	21.6	①40.2	14.2	7.1	0.7	14.2
公務員 (20)	20.0	45.0	35.0	30.0	10.0	10.0	35.0	15.0	40.0	5.0	5.0	0.0	20.0
教職員 (20)	30.0	35.0	35.0	40.0	15.0	25.0	65.0	30.0	55.0	20.0	10.0	0.0	10.0
主婦（主夫） (227)	27.8	②49.3	③42.7	31.3	14.5	22.5	34.4	26.4	①52.4	22.0	6.2	1.3	9.3
農林漁業者 (12)	33.3	25.0	50.0	50.0	33.3	25.0	33.3	41.7	66.7	41.7	33.3	0.0	8.3
その他 (325)	27.1	②48.6	①50.8	36.3	14.2	20.9	38.5	22.8	③47.4	18.8	6.8	1.5	9.5

*（）内の数値は回答者数を、グラフ内の数値は%を示す。

※ n=30以上の項目を対象にマーキング

[1~3位] ① 1位 ② 2位 ③ 3位	[比率の差]  全体(+10%)  全体(+5%)  全体(-5%)  全体(-10%)
---	---

※地域別

北海道 : 北海道

東北 : 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、静岡

中部 : 石川、福井、岐阜、愛知、三重、富山、長野

近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

沖縄 : 沖縄

※なお、インターネット調査時には回答後に下記の情報を閲覧できるよう、説明ページを掲載しました。

外来種とは

- 外来種とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことです。
- たとえばクローバーやアメリカザリガニなど身近な生きものにも外来種は多くいます。農作物や家畜、ペットなど私たちの生活に欠かせないものもあります。
- 多くの生きものが食用・研究・ペットなどの目的で海外から輸入されたり、貨物などに付着して日本に持ち込まれています。
- 外来種の中でも、特に地域の自然環境などに大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのあるものを、侵略的外来種といいます。
- 海外から持ち込まれる外来種だけでなく、在来種でも元々いなかった地域に持ち込まれた生物が外来種として問題になることがあります。

アンケートの中に出てきた外来種を知っていましたか？

特定
外来生物



アライグマ

アニメの影響からペットとして人気になりましたが、飼育が難しいことから捨てられたり、逃げ出したりして野生化しました。捕食対象が非常に幅広く、ニホンザリガニ等の在来種への影響が懸念されています。また農林水産業被害も平成22年度には3億円を超えるなど問題となっています。

特定
外来生物



マングース

沖縄島、奄美大島にハブの駆除を目的として導入されました。しかし、ハブではなく、ヤンバルクイナやアマミノクロウサギなどの絶滅危惧種を含む多様な生き物を捕食してしまうことが問題となっています。環境省では平成13年から両地域でマングースの防除を行っています。

特定
外来生物



ブラックバス (オオクチバス)

食用として芦ノ湖に導入された後、釣り魚としてとても人気になり全国に放たれました。現在では日本中の湖沼や河川に侵入しています。絶滅危惧種のシナイモツゴなどの魚や水生昆虫を食べて、絶滅の危機に迫っていることが問題になっています。

アメリカザリガニ



1927年に、ウシガエルの餌として導入され、現在では北海道から沖縄までの全国各地に定着しています。いろいろな昆虫や水草を食べてしまうことが問題となっています。ニホンザリガニの生息域や本種がまだ蔓延していない地域には持ち込まないなどの対応が必要です。

特定
外来生物



セアカゴケグモ

全体が黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦線があります。輸入品やコンテナなどに付着して侵入し、国内でも建築資材や車などに付着して生息域が拡大したと考えられています。メスは神経毒を持っており、国内でも咬まれた例がありますので注意が必要です。

特定
外来生物



セイヨウオオマルハナバチ

トマトやナスなどの温室栽培植物の受粉を目的として輸入されました。温室から逃げ出したものが野生化し、北海道では定着が確認されています。北海道では在来種のエゾオオマルハナバチの食べ物やすみかをうばったり、交雑することが問題となっています。

特定
外来生物



アルゼンチンアリ

輸入品やコンテナなどに付着して侵入しており、港湾付近で定着が確認されています。屋内に侵入して日常生活に支障をきたすなど不快感として地域住民に被害を及ぼすとともに、在来種のアリ類をほぼ駆逐してしまうなど生態系に影響を与えています。

外来カブトムシ・クワガタムシ



外国産のカブトムシやクワガタムシが日本国内で野外に放たれた場合、在来種の食べ物や住む場所を奪ったり、交雑するなどの影響を与える可能性があります。飼っているカブトムシやクワガタムシは決して野外に逃がしたり、捨てたりせず、最後まで飼育することが大切です。

特定
外来生物



オオキンケイギク

1880年代強健で冬期のグラウンドカバー効果が高いなどの理由で、緑化用や観賞用に導入され、現在では全国的に定着しています。路傍、河川敷、線路際、海岸などに多く生育しています。カラナデシコなどの河川敷固有の植物が減少したり、消失していることが確認されています。

ホテイアオイ



金魚鉢に入れたり、庭の池できれいな花を楽しんだり、ホテイソウ、ウォーターヒヤシンスなどの名前で親しまれている水草です。どんどん増えて水面を覆いつくすことで在来水生植物の成長を阻害するおそれがあります。また船が通れなくなる等の影響も報告されています。

外来生物法とは

- 正式には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成 17 年施行）といいます。
- この法律は、特定の外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止することを目的としています。
- そのために、もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすものを「特定外来生物」として指定し、その飼養、栽培、保管、運搬、譲渡、輸入といった取扱いを規制し、必要に応じて防除を行うこととしています。

外来種対策に関する平成24年度の動き

○外来生物法の施行状況の検討

外来生物法施行後5年以上が経過したことを受けて、中央環境審議会において法律の施行状況について検討が行われました。この検討結果として平成 24 年 12 月には、中央環境審議会から環境大臣及び農林水産大臣に対して、今後講ずべき必要な措置について意見が提出されました。環境省では農林水産省とともに外来生物法の改正も含め、必要な措置を実施していきます。

詳しくは下記 URL をご覧ください。

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=16099>)

○外来種被害防止行動計画・侵略的外来種リストの検討

平成 24 年9月に閣議決定された「生物多様性国家戦略2012－2020」（生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本的な計画）において、外来種対策の中期的な総合戦略である外来種被害防止行動計画（仮称）、及び、我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種をリストアップした侵略的外来種リスト（仮称）を平成 25 年度中に作成することを主要行動目標として掲げました。平成 24 年度は有識者及び関係省庁からなる会議を開催し、検討を進めています。

外来種問題や外来生物法について、
詳しい情報は環境省外来生物法ホームページへ
<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔アラック〕のみを用いて作製しています。